Rotary International District 2660

*Service Above Self - One Profits Most Who Serves Best*

# 2021-22 年度 国際ロータリー第 2660 地区
# クラブ青少年奉仕合同委員長（Zoom オンライン）会議

日時：2021 年 8 月 28 日 （土） 13:30～16:20
司会：地区青少年奉仕統括委員会 幹事 山本 和良

（敬称略）

| No. | 発表 | 担当者 | | RC |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 開会・資料確認・出席者紹介 | 青少年奉仕統括委員会 幹事 | 山本 和良 | 大阪南 |
| 2 | 開会挨拶 | ガバナー | 吉川 秀隆 | 大 阪 |
| 3 | 趣旨説明 | 青少年奉仕統括委員会 委員長 | 宮里 唯子 | 茨木西 |
| 4 | ローターアクトを深く理解する為の<br>My Rotary 活用法 | 地区ローターアクト委員会 委員長 | 樋口 晃 | 大阪西南 |
| | 「TRY 人生を変える瞬間」 | RA 地区代表 | 重留 里咲 | 大阪中央 RAC |
| | ローターアクトの広報について | RA 地区広報委員長 | 岡本 千代恵 | 大阪西南 RAC |
| 5 | ｲﾝﾀｰｱｸﾀｰからﾛｰﾀﾘｱﾝへ（繋ぐ） | 地区インターアクト委員会 委員長 | 浜田 厚男 | 高槻 |
| 6 | 青少年交換とホストファミリーバンク | 地区青少年交換委員会 委員長 | 和泉谷 研 | 大阪帝塚山 |
| 休 憩（10 分） | | | | |
| 7 | RYLA セミナー | 地区 RYLA 委員会 委員長 | 田原 さおり | 東大阪東 |
| | Team RYLA について | Team RYLA 代表 | 徳山 勝浩 | - |
| | 2021-22 秋の RYLA セミナー | 地区 RYLA 委員会 委員 | 佐藤 剛司 | 摂津 |
| | 2021-22 春の RYLA セミナー | 地区 RYLA 委員会 副委員長 | 粟村 卓家 | 大阪西 |
| 8 | 第 2660 地区 学友会 | 地区学友委員会 委員長 | 瓦谷 勝 | 大阪西南 |
| | 学友会の 2021-22 年度活動 | 地区学友会 会長 | 河田 恵樹 | - |
| 9 | ロータリー青少年のための危機管理<br>「我が子と思え」<br>-それが青少年を危機から護り、人権を護る- | 青少年奉仕統括委員会／<br>RIJYEM＊ アドバイザー | 近藤 眞道 | 高槻西 |
| 10 | 講評と閉会挨拶 | 地区委員会顧問／PDG | 四宮 孝郎 | 大阪西南 |

＊ RIJYEM= RI Japan Youth Exchange Multi District organization(一般社団法人国際ロータリー(RI)日本青少年交換多地区合同機構)

《 配布資料 》

| | |
|---|---|
| ① | …出席者一覧（地区関係者） |
| ② | …出席者一覧（クラブ） |
| ③ | …ビジュアルアイデンティティのガイド（ロータリーの青少年プログラム） |
| ④ | …ロータリー賞の目標と達成のワークシート（ローターアクト） |
| ⑤ | …ロータリー賞の目標と達成のワークシート（インターアクト） |
| ⑥-1 | …青少年交換委員会報告資料 |
| ⑥-2 | …青少年交換短期交換プログラム参加申請書（抜粋） |
| ⑥-3 | …ホストファミリー・バンク登録へのお誘い |
| ⑥-4 | …2019-20 年度 青少年交換派遣生報告書 |

【資料①】

# 2021-22年度　クラブ青少年奉仕合同委員長会議　出席者一覧表①

（敬称略）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ガバナー | | 吉川　秀隆 | 大阪 |
| パストガバナー | | 高島　凱夫 | 大阪中之島 |
| 危機管理委員会　委員長<br>パストガバナー | | 片山　勉 | 大阪東 |
| パストガバナー | | 山本　博史 | 大阪南 |
| パストガバナー | | 四宮　孝郎 | 大阪西南 |
| 直前ガバナー | | 簡　仁一 | 茨木 |
| 青少年奉仕統括委員会　委員長<br>ガバナーエレクト | | 宮里　唯子 | 茨木西 |
| ガバナーノミニー<br>I.M.第1組ガバナー補佐 | | 延原　健二 | 大阪大淀 |
| I.M.第3組ガバナー補佐 | | 森本　匡昭 | 大阪城北 |
| I.M.第4組ガバナー補佐 | | 大谷　隆英 | 大阪柏原 |
| I.M.第5組ガバナー補佐 | | 東村　高良 | 大阪うつぼ |
| I.M.第6組ガバナー補佐 | | 吉村　昭 | 大阪平野 |
| I.M.第1組ガバナー補佐エレクト | | 神寳　敏夫 | 大阪梅田 |
| I.M.第2組ガバナー補佐エレクト | | 伊藤　智秋 | 高槻 |
| I.M.第3組ガバナー補佐エレクト<br>危機管理委員会　副委員長 | | 塩谷　眞治 | 大阪東 |
| I.M.第4組ガバナー補佐エレクト | | 伴井　敬司 | 大阪難波 |
| I.M.第6組ガバナー補佐エレクト | | 若宮　邦弘 | 大阪天王寺 |
| 地区代表幹事 | | 早嶋　茂 | 大阪 |
| 次年度地区代表幹事 | | 下條　泰利 | 大阪南 |
| 地区研修委員会 | 委員 | 新堂　博 | 大阪城北 |
| 地区研修委員会 | 委員 | 中島　清治 | 大阪天満橋 |
| 地区研修委員会 | 委員 | 樋口　信治 | 大阪 |
| 地区研修委員会 | 委員 | 藤井　眞澄 | 大阪南 |
| 地区研修委員会 | 幹事 | 清水　久博 | 大阪南 |
| 青少年奉仕統括委員会<br>RIJYEM | アドバイザー | 近藤　眞道 | 高槻西 |
| 地区副代表幹事 | | 井戸　剛 | 大阪 |
| 地区副代表幹事 | | 生駒　伸夫 | 大阪 |
| 地区常任幹事 | | 小泉　祐助 | 大阪 |
| 地区常任幹事 | | 奥田　吾朗 | 大阪 |
| 青少年奉仕統括委員会　幹事<br>次年度地区副代表幹事 | | 山本　和良 | 大阪南 |
| 次年度地区財務委員長 | | 新開　隆浩 | 大阪南 |
| 次年度地区常任幹事 | | 岡部　倫正 | 大阪城南 |
| 次年度地区常任幹事 | | 後藤　謙治 | 大阪南 |
| 次年度地区常任幹事 | | 津村　昌明 | 茨木西 |
| 次年度地区幹事 | | 梅崎　道夫 | 大阪城南 |
| 次年度地区幹事 | | 河合　一人 | 高槻 |
| 次年度地区幹事 | | 松下　浩章 | 高槻 |
| 次年度地区幹事 | | 小阪　大輔 | 高槻 |
| 次年度地区幹事 | | 湯木　尚二 | 大阪 |
| 次年度地区幹事 | | 競　耕三 | 茨木西 |
| 次年度地区幹事 | | 望田　成彦 | 摂津 |
| 次年度地区幹事 | | 柳山　稔 | 東大阪西 |
| 次年度地区幹事 | | 髙士　誠司 | 大阪西北 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| インターアクト委員会 | 委員長 | 浜田　厚男 | 高槻 |
| | 副委員長 | 曽家　清弘 | 八尾 |
| | 副委員長 | 高原　誠一郎 | 池田くれは |
| | 副委員長 | 檜皮　悦子 | 大阪中之島 |
| | 委員 | 中崎　諭 | 大東 |
| | 委員 | 近藤　菜穂子 | 大阪ネクスト |
| | 委員 | 福田　治夫 | 守口イブニング |
| | 委員 | 山中　直理 | 大阪 |
| | 委員 | 北村　太作 | 大阪北梅田 |
| | 委員 | 大東　俊也 | 大阪城北 |
| | 委員 | 大田　仁司 | 大阪天王寺 |
| 学友委員会 | 委員長 | 瓦谷　勝 | 大阪西南 |
| | 副委員長 | 磯田　郁子 | 大阪東淀ちゃやまち |
| | 副委員長 | 吉﨑　広江 | 東大阪東 |
| | 委員 | 三好　えり子 | 大阪そねざき |
| 青少年交換委員会 | 委員長 | 和泉谷　研 | 大阪帝塚山 |
| | 副委員長 | 松吉　冨美彦 | くずは |
| | 副委員長 | （望田　成彦） | 摂津 |
| | 副委員長 | 清水　一人 | 大阪難波 |
| | 副委員長 | 久松　秀雄 | 大阪御堂筋本町 |
| | 委員 | 吉田　悦治 | 大阪中央 |
| | 委員 | 土方　慶之 | 茨木 |
| | 委員 | 水谷　佳代 | 大阪西南 |
| | 委員 | 船山　尊代 | 大阪水都 |
| | 委員 | 廣田　亮彦 | 大阪北梅田 |
| ローターアクト委員会 | 委員長 | 樋口　晃 | 大阪西南 |
| | 副委員長 | 仲西　良浩 | 大阪天満橋 |
| | 副委員長 | 伊藤　勝彦 | 大阪南 |
| | 副委員長 | 橋本　昌也 | 池田 |
| | 副委員長 | 児林　秀一 | 八尾 |
| | 委員 | 山本　貴雄 | 箕面 |
| | 委員 | 中嶋　茂夫 | 大阪中央 |
| | 委員 | 向井　玄人 | 大阪帝塚山 |
| | 委員 | 松本　かおり | 守口 |
| | 委員 | 大槻　恭介 | 八尾 |
| | 委員 | 岡本　忠志 | 大阪水都 |
| RYLA委員会 | 委員長 | 田原　さおり | 東大阪東 |
| | 副委員長 | 友田　昭 | 八尾 |
| | 副委員長 | 神藤　佳浩 | 大阪南 |
| | 副委員長 | 小林　大介 | 大阪平野 |
| | 副委員長 | 粟村　卓家 | 大阪西 |
| | 委員 | 佐藤　剛司 | 摂津 |
| | 委員 | 森田　亮介 | 豊中千里 |
| | 委員 | 橋本　友三 | 大阪東南 |

【資料②】

# 2021-2022年度 クラブ青少年奉仕合同委員長会議 出席者一覧表②

（敬称略）

| IM | クラブ名 | 2021-2022 青少年奉仕担当者（代理の方含む） |
|---|---|---|
| 1組 | 池田 | （橋本 昌也） |
| | 池田くれは | 坂田 妙子／今井 卓哉 |
| | 箕面 | 三上 智子 |
| | 箕面千里中央 | 欠席 |
| | 大阪水都 | 欠席 |
| | 大阪中央 | （中嶋 茂夫） |
| | 大阪北梅田 | 榮野 隆 |
| | 大阪北 | 三宮 正裕 |
| | 大阪大淀 | 欠席 |
| | 大阪そねざき | （三好 えり子） |
| | 大阪梅田 | 中島 賢一 |
| | 大阪梅田東 | 欠席 |
| | 豊中 | 吉川 秀樹 |
| | 豊中千里 | 若井 幸俊 |
| | 豊中南 | 水野 茂 |
| 3組 | 大東 | 中野 隆二 |
| | 大東中央 | 岡橋 由佳 |
| | 枚方 | 吉田 収／鹿浦 佳子 |
| | 門真 | 濱中 早苗 |
| | 交野 | 西田 輝／太田耕太郎 |
| | 香里園 | 金剛 照祐 |
| | くずは | 大橋 智洋 |
| | 守口 | 松本 誠也 |
| | 守口イブニング | 北山 展弘 |
| | 寝屋川 | 向井 弘 |
| | 大阪東 | 山本 博之／池本 修 |
| | 大阪城東 | 柳瀬 寛之 |
| | 大阪城北 | 稲富 修 |
| | 大阪鶴見 | 源 壽美子 |
| 5組 | 大阪堂島 | 石津 茂貴 |
| | 大阪フレンド | 高田 利美 |
| | 大阪西北 | 松浦 正吉 |
| | 大阪リバーサイド | 中山 正隆 |
| | 大阪船場 | 山川 良知 |
| | 大阪心斎橋 | 田河 健司 |
| | 大阪西南 | 戸谷 大介 |
| | 大阪ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｼﾃｨ | 佐田 幸夫 |
| | 大阪アーバン | 木下 宗尚 |
| | 大阪うつぼ | 森本 聡 |
| | 大阪西 | （粟村 卓家） |

| IM | クラブ名 | 2021-2022 青少年奉仕担当者（代理の方含む） |
|---|---|---|
| 2組 | 茨木 | 殿村 昌弘／（土方 慶之） |
| | 茨木東 | 中田 有紀 |
| | 茨木西 | （競 耕三） |
| | 大阪東淀ちゃやまち | （磯田 郁子） |
| | 大阪淀川 | 川合 雄治／今城 賢 |
| | 千里 | 丸岡 敏明 |
| | 千里メイプル | 水島 洋 |
| | 摂津 | （望田 成彦） |
| | 新大阪 | 松川 雅典 |
| | 吹田 | 早崎 明 |
| | 吹田江坂 | 船崎 敏伸／木元 香織 |
| | 吹田西 | 瀬川 昇 |
| | 高槻 | （浜田 厚男） |
| | 高槻東 | 山西 陽祐／瀧井 斉 |
| | 高槻西 | 三好 誠／（近藤 眞道） |
| 4組 | 東大阪 | 美濃 弘和 |
| | 東大阪東 | 森本 竜一 |
| | 東大阪西 | 藤原 史嗣 |
| | 東大阪中央 | 岡本 慎一 |
| | 東大阪みどり | 阪田 克英 |
| | 大阪柏原 | 菰田 修己 |
| | 大阪御堂筋本町 | （久松 秀雄） |
| | 大阪難波 | 福田 忠 |
| | 大阪ネクスト | 中川 順子 |
| | 大阪南 | 寺川 明宏 |
| | 八尾 | 稲田 賢二 |
| | 八尾中央 | 露原 行隆 |
| | 八尾東 | 上山 惣太 |
| 6組 | 大阪 | （山中 直理）／新居 勇子 |
| | 大阪イブニング | 奥 公男 |
| | 大阪平野 | 吉川 孝治 |
| | 大阪城南 | 野村 篤 |
| | 大阪中之島 | （檜皮 悦子） |
| | 大阪大手前 | 柴田 博文 |
| | 大阪咲洲 | 小林 克俊 |
| | 大阪東南 | （橋本 友三） |
| | 大阪天満橋 | 山本 喬一 |
| | 大阪天王寺 | 谷野 清孝 |
| | 大阪帝塚山 | 二上 寛弘／向井 玄人 |
| | | （和泉谷 研） |

| ローターアクト | |
|---|---|
| 地区代表 重留 里咲 | 地区広報委員長 岡本千代恵 |

| 学友会 |
|---|
| 会長 河田 恵樹 |

【資料③】

547H-JA—(817)

# ビジュアルアイデンティティのガイド

## ロータリーの
## 青少年プログラム

Rotary

このガイドラインの目的は、
若者たちにロータリーを
もっと身近に感じてもらえるような
ビジュアル要素を、
一貫した形で採用することです。

# ロゴ
## インターアクト

「インターアクト」は、ロータリークラブ提唱の下、若者たちのリーダーシップの力と奉仕の心を育む12〜18歳の青少年のクラブです。

インターアクトの公式ロゴは、スカイブルーの一色で、「Interact」という文字のグラフィックと誇りのシンボル(ロータリーの歯車）で構成されています。

**色指定（スカイブルー）**
PMS 2202C
C96 M0 Y6 K0

PMS 2202U
C94 M0 Y6 K0

Hex#01b4e7
R1 G180 B231

### 媒体別ロゴのフォーマット

| | | |
|---|---|---|
| 印刷 | .eps | spotまたはcmyk |
| 刺繍 | .eps | spotまたはcmyk |
| シルクスクリーン | .eps | spotまたはcmyk |
| ワード文書（印刷） | .png | rgb |
| パワーポイント | .png | rgb |
| デジタル<br>ウェブサイト<br>Eメール<br>タブレット／携帯 | .png | rgb |

### インターアクトの公式ロゴ

「Interact」の文字のグラフィック　ロータリーの歯車

### フルカラー

ポジティブ（背景が淡色または白の場合のみ）

スカイブルー　スカイブルー

### インターアクトの簡易ロゴ

### 単一色

100%ホワイト（反転）

100%ブラック

# ロゴ
## インターアクト

学校名やクラブ名を入れたロゴを作り、資料やグッズで使うこともできます。学校名・クラブ名入りロゴが作れるツールが、ブランドリソースセンター（brandcenter.rotary.org/ja-JP)から利用できます。ロータリーの免許取得業者も、学校名やクラブ名入りロゴが表示されたロータリー商品を製造できます。

基本形は、インターアクト公式ロゴの下に学校名やクラブ名を入れたものとなります（右の基本形を参照）。

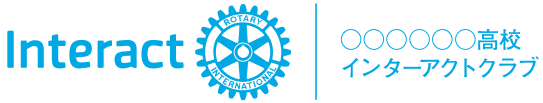
基本形のほかに、学校名・クラブ名を違う形で入れた代替形も使用できます（右の代替形を参照）。

ロゴの「Interact」とロータリーの歯車の位置と比率は、右の仕様に沿って複製してください（位置と比率を変えることはできません）。

### インターアクトクラブ用

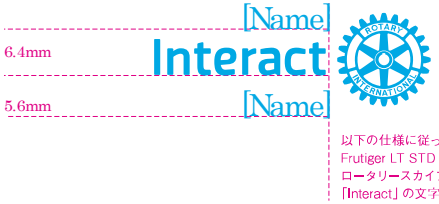
基本形（日本語）

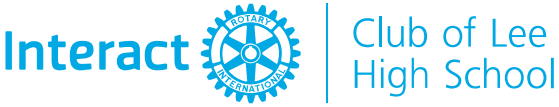
可能な代替形




基本形（英語）

可能な代替形



# ロゴ
## インターアクト

具体例

# ロゴ
## ローターアクト

ロータリーのパートナー、「ローターアクト」は、若者たちのリーダーシップの力と奉仕の心を育む18〜30歳の若者のクラブです。

ローターアクトの公式ロゴは、クランベリーの一色で、「Rotaract」という文字のグラフィックと誇りのシンボル(ロータリーの歯車）で構成されています。

**色指定（クランベリー）**

PMS 214C／C0 M100 Y22 K0

Rubine RedU／C0 M100 Y22 K0

Hex #d91b5c／R217 G27 B92

### 媒体別ロゴのフォーマット

| | | |
|---|---|---|
| 印刷 | .eps | spotまたはcmyk |
| 刺繍 | .eps | spotまたはcmyk |
| シルクスクリーン | .eps | spotまたはcmyk |
| ワード文書（印刷） | .png | rgb |
| パワーポイント | .png | rgb |
| デジタル<br>ウェブサイト<br>Eメール<br>タブレット／携帯 | .png | rgb |

### ローターアクトの公式ロゴ

「Rotaract」の文字のグラフィック　ロータリーの歯車

### フルカラー

ポジティブ（背景が淡色または白の場合のみ）

クランベリー　クランベリー

### ローターアクトの簡易ロゴ

### 単一色

100%ホワイト（反転）

100%ブラック

# ロゴ

## ローターアクト

クラブ名や大学名を入れたロゴを作り、資料やグッズで使うこともできます。そのようなロゴが簡単に作れるツールが、ブランドリソースセンター（brandcenter.rotary.org/ja-JP）から利用できます。ロータリーの免許取得業者も、クラブ名や大学名入りロゴが表示されたロータリー商品を製造できます。

基本形は、ローターアクト公式ロゴの下にクラブ名や大学名を入れたものとなります（右の基本形を参照）。

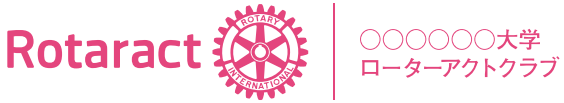
学校名・クラブ名の長さに応じて、以下の代替形も可能です。

ロゴの「Rotaract」とロータリーの歯車の位置と比率は、右の仕様に沿って複製してください。

### ローターアクトクラブ用

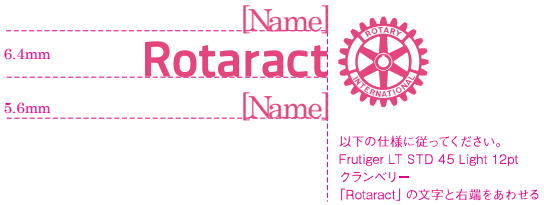
基本形（日本語）

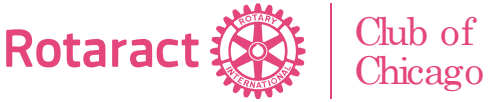
可能な代替形




基本形（英語）

可能な代替形



# ロゴ
## ローターアクト

具体例

# ロゴ

## 余白スペース
## 印刷用の最小使用サイズ

| ロゴ | 印刷用の最小使用サイズ | |
|---|---|---|
| **インターアクトの公式ロゴ**<br>最小使用サイズ：13mm<br>最大使用サイズに制限はありません | 13mm Interact | |
| **ローターアクトの公式ロゴ**<br>最小使用サイズ：13mm<br>最大使用サイズに制限はありません | 13mm Rotaract | |

**余白スペース**

ロゴの周りには、インターアクトの場合はロゴ中の大文字「I」、ローターアクトの場合にはロゴ中の大文字「R」の高さと同じ余白スペースを入れる必要があります。

**媒体別ロゴのフォーマット**

| | | |
|---|---|---|
| 印刷 | .eps | spotまたはcmyk |
| 刺繍 | .eps | spotまたはcmyk |
| シルクスクリーン | .eps | spotまたはcmyk |
| ワード文書（印刷） | .png | rgb |
| パワーポイント | .png | rgb |
| デジタル<br>ウェブサイト<br>Eメール<br>タブレット／携帯 | .png | rgb |

# ロゴ

## 余白スペース
## デジタルメディアの
## 最小使用サイズ

| ロゴ | デスクトップ／ラップトップ用の最小使用サイズ | 携帯／タブレット用の最小サイズ |
|---|---|---|
| **インターアクトの公式ロゴ**<br>最小使用サイズ：60px<br>最大使用サイズに制限はありません | 60px Interact | 80px Interact |
| **ローターアクトの公式ロゴ**<br>最小使用サイズ：60px<br>最大使用サイズに制限はありません | 60px Rotaract | 80px Rotaract |
| **簡易ロゴ**<br>デジタルメディアで小さく表示する場合<br>最大使用サイズ：<br>60px未満（デスクトップ／ラップトップ）<br>80px未満（携帯／タブレット）<br>最小使用サイズ：<br>30px未満（デスクトップ／ラップトップ）<br>40px未満（携帯／タブレット） | 30px Interact<br>30px Rotaract | 40px Interact<br>40px Rotaract |

余白スペース

ロゴの回りにはロゴ中の小文字「c」の高さと同じ余白スペースを入れる必要があります。

# ロゴ
## ロータリー青少年交換

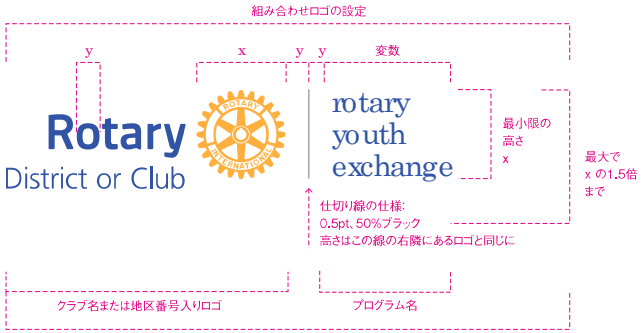
ロータリーのロゴと青少年交換プログラムを組み合わせたデザインは、デジタル媒体、小さいスペース、刺繍などで、右のようなデザインで小さく表示することもできます。このようなデザインは、プログラムとロータリーの関係を分かりやすくすることが目的です。デザインは、クラブ名や地区名入りのロゴと、プログラム名の文字（「rotary youth exchange」または「ロータリー青少年交換」）を組み合わせたものとなり、ロータリーの公式フォントを使って複製できます。

右側のプログラム名は、英語で「rotary youth exchange」と入れても、日本語で「ロータリー青少年交換」と入れても、どちらでも構いません。

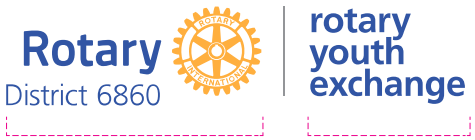
デザインの詳細は、ブランドリソースセンターからダウンロードできるガイドラインをご参照ください。（rotary.org/ja/brandcenter）

刺繍で複製する場合は簡易ロゴをお使いください。

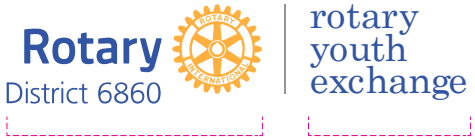
ロータリー青少年交換：ロータリーのロゴとの組み合わせ



例




地区名入りロゴ　Frutiger




地区名入りロゴ　Sentinel

地区名入り簡易ロゴ　Arial Narrow

地区名入り簡易ロゴ　Georgia

# ロゴ
## ロータリー青少年交換

クラブ、地区、多地区合同の青少年交換用の資料やグッズに、新しいデザインを取り入れましょう。このデザインは、クラブ名や地区番号入りのロータリーのロゴと、「rotary youth exchange」（または「ロータリー青少年交換」）の文字を、右例のように組み合わせたものとなります。

Tシャツ、ピン、パンフレット、そのほかの推進用資料などの場合、プログラムのグラフィックや文字を大きく太字で表示し、クラブ名や地区名入りロータリーロゴと近接した位置に表示してください。

クラブ名や地区名入りロゴは、「ブランドリソースセンター」で簡単に作成できます。
（rotary.org/ja/brandcenter）

ロータリー青少年交換のアイテムをクラブや地区でデザインする場合の例

# ロゴ

## ロータリー青少年指導者養成プログラム

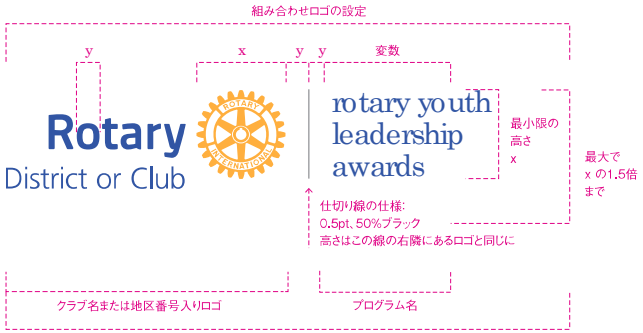
ロータリーのロゴとRYLAプログラムを組み合わせたデザインは、デジタル媒体、小さいスペース、刺繍など、右のようなデザインで小さく表示することもできます。このようなデザインは、プログラムとロータリーの関係を分かりやすくすることが目的です。デザインは、クラブ名や地区名入りロゴと、プログラム名の文字（「rotary youth leadership awards」、「RYLA」または「ロータリー青少年指導者養成プログラム」）を組み合わせたものとなり、ロータリーの公式フォントを使って複製できます。

右側のプログラム名は、英語で「rotary youth leadership awards」または「RYLA」と入れても、日本語で「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と入れても、どちらでも構いません。

デザインの詳細は、ブランドリソースセンターからダウンロードできるガイドラインをご参照ください。（rotary.org/ja/brandcenter）

刺繍で複製する場合は簡易ロゴをお使いください。

ロータリー青少年指導者養成プログラム：ロータリーのロゴとの組み合わせ



例

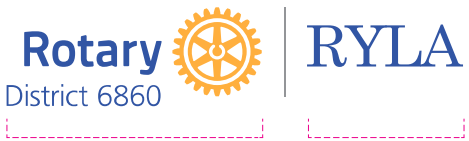
地区名入りロゴ　Frutiger

地区名入りロゴ　Sentinel

地区名入りロゴ　Arial Narrow

地区名入りロゴ　Georgia

地区名入り簡易ロゴ　Frutiger




地区名入り簡易ロゴ　Sentinel

# ロゴ
## ロータリー青少年指導者養成プログラム

クラブや地区のRYLAプログラム用の資料やグッズに新しいデザインを取り入れましょう。このデザインは、クラブ名や地区名入りのロータリーのロゴと、「rotary youth leadership awards」または「RYLA」の文字を、右例のように組み合わせたものとなります。

Tシャツ、ピン、パンフレット、そのほかの推進用資料などの場合、プログラムのグラフィックや文字を大きく太字で表示し、クラブ名や地区名入りロータリーロゴと近接した位置に表示してください。

クラブ名や地区名入りロゴは、「ブランドリソースセンター」で簡単に作成できます。
(rotary.org/ja/brandcenter)

青少年指導者養成プログラムのアイテムをクラブや地区でデザインする場合の例

# 問い合わせ先

**ガイドラインに関する問い合わせ**

一般的な問い合わせや、Pantone™の色見本の購入／ダウンロード、ロータリーのフォントの購入についてのお問い合わせは
graphics@rotary.orgまで

**免許（ライセンス）に関するお問い合わせ**

ロータリー徽章入り商品の製造・流通・販売についてのお問い合わせ（ロータリー徽章入り商品を募金活動用に販売する場合を含む）は
rilicensingservices@rotary.orgまで



547H-A—(817)

# 年度ロータリー賞の目標と達成のワークシート（ローターアクト）

ロータリー賞（ローターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の 22 の目標のうち、少なくとも 12 の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこの PDF をご利用ください。また、推薦フォームを記入する際にも参考としてください。ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 22 の目標の詳細に目を通す
- 少なくとも 12 の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄に印をつける。
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- 年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブまたはローターアクトクラブ会長が、8 月 15 日までにオンラインの推薦フォームを提出する。フォームの記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、ローターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6 月 30 日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。

| ロータリー賞のカテゴリー | 目標の詳細 | 目標の設定 | 達成 |
|---|---|---|---|
| クラブの会員数 | ロータリー年度末までにクラブ会員を__名とする。 | | |
| 奉仕への参加 | 本ロータリー年度に、__名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。 | | |
| ロータリー行動グループへの参加 | 本ロータリー年度に少なくとも１つのロータリー行動グループのメンバーとなる会員数を__名とする。 | | |
| リーダーシップ育成への参加 | 会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成または職業能力開発プログラムを実施する。 | | |
| 地区大会への参加 | 地区大会に__名の会員が出席する。 | | |
| ロータリー親睦活動グループへの参加 | 本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなる会員数を__名とする。 | | |
| 地区研修への参加 | __名のクラブ会員が地区の研修行事に出席する。 | | |
| ラーニングセンターの利用 | __名のクラブ会員がラーニングセンターにアクセスし、それらの会員が__のコースを完了する。 | | |
| 年次基金への寄付 | ロータリー年次基金にクラブから寄付を行う。また、これらの寄付がローターアクトの寄付の達成証を得る要件を満たしているか確認する。 | | |
| ポリオプラス基金のための活動 | 本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。 | | |
| 奉仕プロジェクト | スポンサークラブと協力し、6 つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある地域社会または国際奉仕プロジェクトを実施する。 | | |
| ローターアクトクラブの数 | 本ロータリー年度に__つのローターアクトクラブをスポンサーする。 | | |
| インターアクトクラブ | 本ロータリー年度に__つのインターアクトクラブを共同スポンサーする。 | | |
| RYLA への参加 | __名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の計画に関わる、または RYLA に参加する。 | | |
| 若いリーダーのためのプログラム | ロータリープログラム（RYLA、新世代交換など）を会員に紹介するための会合を開く。 | | |
| 戦略計画 | クラブには最新の戦略計画がある。 | | |
| オンラインでの存在感 | クラブのオンラインページは、現在の活動状況を正確に伝えている。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ウェブサイトとソーシャルメディアの更新 | 本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。 | | |
| 交流活動 | 本ロータリー年度、通常の例会以外に__回の交流行事を開く。 | | |
| クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用 | 世界ローターアクト週間に行ったイベントや活動について、ソーシャルメディアで紹介する。 | | |
| ロータリーの公式推進資料の利用 | 本ロータリー年度、地域社会でローターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。 | | |
| クラブの推進 | 卓越したローターアクトプロジェクト賞にクラブの優れたプロジェクトを応募する。 | | |

# 年度ロータリー賞の目標と達成のワークシート（インターアクトクラブ）

ロータリー賞（インターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の 20 の目標のうち、少なくとも 11 の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこの PDF をご利用ください。スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーがオンラインの推薦フォームを用いてクラブの達成を報告する際にも、この PDF を参照できます。ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 20 の目標の詳細に目を通す
- クラブのアドバイザーからの指導を受け、11 の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄に印をつける。
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8 月 15 日までにオンラインの推薦フォームを提出する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6 月 30 日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。また、成人のアドバイザーが、6 月 30 日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

| ロータリー賞のカテゴリー | 目標の詳細 | 目標の設定 | 達成 |
|---|---|---|---|
| クラブの会員数 | ロータリー年度末までにクラブ会員を__名とする。 | | |
| 奉仕への参加 | 本ロータリー年度に、__名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。 | | |
| ロータリー行動グループとの関わり | 本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。 | | |
| リーダーシップ育成への参加 | 会員のスキルを伸ばすため、__回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。 | | |
| 地区大会への参加 | 地区大会に__名の会員が出席する。 | | |
| ロータリー親睦活動との関わり | 本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。 | | |
| 地区研修への参加 | クラブ会員が地区の研修行事に出席する。 | | |
| ラーニングセンターの利用 | 2020-21 ロータリー年度に、クラブのアドバイザーまたは 1 名の会員が、ロータリーのラーニングセンターで奉仕について学ぶオンラインコースを修了する。 | | |
| 年次基金への寄付 | 本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。 | | |
| ポリオプラス基金への寄付 | 本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。 | | |
| 奉仕プロジェクト | スポンサーロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、6 つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。 | | |
| RYLA への参加 | __名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に参加する。 | | |
| 若いリーダーのためのプログラム | 若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。 | | |
| 学友の参加 | スポンサーローターリークラブと協力して、卒業するインターアクターにローターアクトクラブ（大学基盤または地域社会基盤のどちらか）を紹介する。 | | |
| 戦略計画 | クラブには最新の戦略計画がある。 | | |
| ウェブサイトとソーシャルメディアの更新 | 本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月__回更新する。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用 | 世界インターアクト週間に行った活動について、ソーシャルメディアで紹介する。 | | |
| ブランドリソースセンターの利用 | ロータリーのブランドを正しく反映したロゴや資料の作成において、ブランドリソースセンターを利用する。 | | |
| ロータリーの公式推進資料の利用 | 本ロータリー年度、地域社会でインターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。 | | |
| クラブの推進 | 毎年のインターアクト賞に参加する。 | | |

【資料⑥-1】

YEC 委員会資料 1

青少年交換委員会報告をさせていただきます。例年は毎年約 5 人の長期青少年交換を行っていますが、新型コロナウィルス感染拡大（以下 COVID19）により 2020-2021 年は派遣中止、2021-2022 年は募集中止となりました。2022-2023 年派遣につきましてもコロナ禍の最中である現状では募集再開に至っておりません。今後はワクチン接種により状況が好転する可能性もある一方、新たな変異株の出現などリスク増大の可能性もある状況です。募集再開の可否も含め新たな情報がある場合は地区 HP に掲載いたしますのでご確認ください。また、募集再開された場合でも COVID19 の状況や RIJYEM(RI)の指針・通達などにより派遣中止となる可能性も十分あることをご了承ください。派遣学生には COVID19 ワクチンの接種を強く推奨します（交換プログラムに参加するためには必須とお考えください）。IBS と接するホストファミリーやカウンセラーなども同様です。

委員会では長期交換だけでなく短期交換も より積極的に実施したいと考えております。各クラブ様におかれましては国際交流事業として長期交換とともに短期交換プログラムへの参加、ホストファミリーバンク登録へのご協力をお願い致します。また、IAC 提唱クラブ様におかれましては IAC 参加学生が青少年交換プログラムへの参加しやすくなる仕組み作りのご検討をお願いします。

派遣を希望される方は募集再開可否に関わらず英語の勉強を続ける事をお勧めします。もし、北米以外に派遣希望国（地区）があれば参考のため青少年交換委員会にお知らせください。交換可能地区かどうか確認いたします。

2022-2023 年青少年交換予定相手国（2021 年 8 月 17 日現在）

フランス、フィンランド、台湾（いずれも over age 受入可）

現状、北米は交換再開に慎重、欧州と台湾は前向きです。

# （参考資料）

# 国際ロータリー青少年交換
# 短期交換プログラム（STEP）参加申請書(抜粋)

EEMA（Europe – Eastern Mediterranean – Africa）2011年5月版

**本日本語版は EEMA 2011 final version を記入するにあたっての参考用に作成されたものです。**
**正式文書としては扱われません。記入時、署名時の内容確認の補助のためにお使いください。**
**（RIJYEC日本語版　2017年5月策定）**

## 国際ロータリー第 2660 地区青少年交換プログラム

**申請書送付先：**
地区青少年交換委員またはクラブ青少年交換委員は、横の記入欄に書類作成後の送付先、上の地区番号欄に地区番号を記入したうえで、本申請書を申請者に送付すること。

## 一般情報

この申請書はアドビリーダーで直接作成保存できるように作ってあります。アドビリーダー以外のソフトでは違ったレイアウトが表示されることや、入力の一部ができないことがあります。アドビリーダーはhttp:// get.adobe.com/reader から入手できます。

## 短期青少年交換の種類

● **家族間または個人間の交換**（ホームスティによる交換で15歳から19歳が対象）

**申請書ページ 3-7 および付属書 A**

このプログラムは個人またはグループの参加者が、お互いに各国の家庭に数週間ホームスティを行うものです。このホームスティは参加者間に相互に行われることが普通です。例えばブラジルとドイツの間で行われる交換の場合、ブラジルからドイツに数週間滞在した参加者がドイツの参加者を伴ってブラジルに渡るような事が想定されます。このような交換は通常、家庭間またはクラブ間で行われます。交換プログラムの期間中、同じ国から来た学生や異なったいくつかの国の学生とともに旅行に参加することも、もちろん可能です。

● **ユースキャンプや旅行**（15歳から25歳までの主催者によって定められるユースキャンプまたは旅行の参加者）

**申請書ページ 3-7 および付属書 B**

これらのキャンプや旅行は、数か国から集まった参加者により行われるもので通常夏季に行われます。キャンプはスポーツ、技術、自然、言語、コンピューターや地域奉仕活動への参加が目的とされています。リーダーシップの養成や国際理解を目的に開催されることもあります。世界各国の参加者が一堂に会すことで、参加者間の友好を通じ文化の違いの理解や国際理解の促進に役立ちます。障害を持った参加者がキャンプや旅行に参加することももちろん可能ですが、ハンディキャンプと呼ばれるような介護者を必要とするより障害の程度の高い参加者の集うキャンプや旅行に参加する場合には、この申請書に加え、さらに細かな書類が主催者から要求されることがあります。

国際ロータリー第 2660 地区

# 短期青少年交換プログラム

## 交換の規則と条件、派遣の許可と宣誓

ロータリークラブまたは地区から派遣される青少年交換学生として、交換に関する以下の規則と条件に同意しなければなりません。
いずれかの規則を侵害したばあい、プログラムから排除され、自費による早期帰国という結果を招くことがあります。
地元の状況に合わせて、必要な場合には、地区が本文書を修正したり、その他の規則を加えることがあります。

## 交換の規則と条件

1) 受入国の法律を遵守しなければなりません。法律に反する行為が発覚した場合、派遣側や自国からは一切の支援も受けられません。警察から釈放され次第、直ちに自費で帰国をしなければなりません。
2) 交換学生である間は受入地区の管理下に置かれ、受人地区の交換の規定に従わなければなりません。両親あるいは法的保護者は、あなたに直接、他のいかなる活動も許可してはなりません。プログラム期間中は、受入国に住む親戚も、あなたに関する権利を有しないものとします。
3) 不法薬物の所有や使用は認められていません。医師から処方された薬は許可されています。
4) アルコール類の不法な所持や飲酒は固く禁じられています。成人の年齢に達している学生も飲酒を控えるべきです。成人の年齢に達しており、ホストファミリーからアルコール類を勧められた場合、家庭内でホストファミリーの監督の下での飲酒は許容されます。
5) 原動機を有する乗り物を運転してはいけません。自動車のみならず、トラック、モーターバイク、飛行機、不整地走行車両、スノーモービル、モーターボートやその他の水中水上の乗り物を運転することは許されません。また、それらの乗り物の運転教育プログラムに参加することもできません。
6) 出発時から帰国時までを補償し、事故によるけがおよび疾病に対する医療および歯科治療、死亡の場合（遺体の本国送還を含む）、身体障害／四肢切断の揚合、緊急医療移送、緊急訪問費用、24時間緊急援助サービス、法的賠償責任に適用され、派遣ロータリークラブまたは地区と相談し、受入ロータリークラブや地区が十分と認める額の旅行保険に加入していなければなりません。
7) 往復のチケットを自国出発時に購入しておかなければなりません。
8) 派遣及び受入の地区またはクラブによって開催されるオリエンテーションに参加、また、訓練を受けなければなりません。
9) 交換中のあなたの健康を確保するために十分な経済的支援が必要です。受入地区によって、緊急時のための臨時資金を要請される場合もあります。未使用分の資金は、交換後に両親あるいは法的保護者へ返還されます。
10) 受入地区の旅行に関する規定に従わなければなりません。旅行は、ホストファミリーの両親と一緒の場合、または受入ロータリークラブや地区から許可されたロータリークラブや地区の行事のために適切な成人の付添い人がついた場合に許可されます。受入地区とクラブ、ホストファミリーおよび、未成年者の場合その両親や法的保護者は、その他の旅行について、ロータリーをその義務と法的責任から免除し、書面によって承認を行わなければなりません。
11) 受入地区及び未成年者の場合両親または、法的保護者の双方から同意を得られる経路によって本国に直接帰国しなければなりません。
12) 早期帰国にかかる費用またはその他の例外的な費用（言語個別指導、旅行など）は、あなたと両親または法的保護者の負担となります。
13) 本国を出発する前に、最初のホストファミリーと連絡をとっておくべきです。ホストファミリーの情報は、出発に先立って、受入クラブまたは地区から提供されます。
14) 交換中に両親や法的保護者、兄弟、または友人が訪問することは極力避けるようにしてください。このような訪問は、受入クラブと地区が同意し、その指針に従ってのみ行うことができます。
15) 虐待またはハラスメントにあった場合は、受入クラブのカウンセラー、ホストファミリーの両親またはその他の信頼できる大人に相談してください。

## 交換を成功させるための注意点

1) 喫煙は控えてください。申請書に喫煙しないと記入した場合、交換中を通して喫煙することはできません。あなたの受入れとホストファミリーの選定は、あなたの署名した声明に基いて行われます。
2) 受入側の意向を尊重してください。ホストファミリーの大切な一員として、あなたと同じ年頃の学生や子供が普通に行うような家事の手伝いや責務を引き受けてください。
3) 受入国の言語の基礎を学んでください。
4) ロータリーの提唱する行事や、ホームスティしている場合にはホストファミリーの行事に出席し、こうした行事に関心を示してください。参加にあたっては、頼まれるのを待つのではなく、自ら進んで行ってください。
5) 恋愛行動を避けてください。性的行為は謹んでください。
6) お金を借りてはいけません。請求書については速やかに支払いを行ってください。家庭の電話やコンピューターを使用する際は許可を求め、すべての通話時間やインターネットの使用時間を記録し、毎月自分の使用した分の費用をホストファミリーに支払ってください。
7) インターネットおよび携帯電話の使用を制限してください。過度または不適切な使用は認められていません。
8) 旅行に出かけたり、行事に出席する機会が与えられた場合、出発前に、自己負担すべき費用や自分の責任についてよく理解しておいてください。

## 医療に関する許可および免責

私たち、申請者の医療及び健康に関する唯一かつ法的な決定権を有する申請者の両親／法的保護者は、申請者がロータリー青少年交換学生としてプログラムに参加する間、以下に記された通り、免責を行い、許可を与えるものとします。

- 事故あるいは病気の場合、私たち／私は、ロータリアン、ロータリー活動で委任された付添い人、および／または学生のホストファミリーの両親が、治療をするための適切な医療機関と医師／歯科医を選択することを認めます。
- 私たち／私は、医師が息子／娘／被保護者の治療に必要または妥当と判断する手術、麻酔薬投与、あるいは輸血を許可します。
- 私たち／私はさらに緊急時に息子／娘／被保護者に必要とされ、免許を有する医師、外科医あるいは歯科医による医療または外科治療に同意します。

私たちは、最終的な結果に関わりなく、緊急時の介入に関して、国際ロータリー、ロータリー地区、ロータリークラブ、ロータリアン、ロータリーの付添い人、あるいはホストファミリーの免責に同意します。私たちは、行われた医療行為に関して、保険で補償されない部分のすべての財政的義務を担うことに同意します。

## 申請者による宣言

申請者の本プログラムへの採用および参加に鑑みて、以下に署名した申請者は、法の許す限りで、過失あるいは不作為から起こる可能性も含め、いかなる損失、物的損害、個人の死傷に対する責任についても、重大な過失あるいは意図的な行為がある場合を除き、受入国との往復の旅行中を含め本青少年交換プログラムに申請者が参加したことにより、または参加中に申請者損害を与えた場合または申し立てをした場合、すべてのホストファミリーのメンバー、および派遣側と受入側のロータリークラブと地区、国際ロータリーのすべての会員、役員、理事、委員会委員、職員を解放し、免責し、保護しかつ損害を与えないことに同意します。

- 以下に署名した申請者として、交換のプログラム規定および条件を読み、理解したことをここに表明します。私はこれらの規定と、交換学生として受入国に滞在中に当然の通知をもって私に課されるその他の規定に従うことに同意します。
- 私たちは、青少年と接する際の行動規範に関する声明を読み、理解したことを証明します。私たちは、すべてのロータリアンおよびホストファミリーも同声明を読み、理解することが求められているのを承諾します。私は、交換生として選ばれた場合、虐待およびハラスメントに関する研修と書面による資料を提供され、これには、私が虐待やハラスメントを受けた際に連絡すべき人物の連絡先が含まれていることを理解します。

私は良好な健康状態と人格を持ち、ロータリー青少年交換学生として、また青少年親善使節としての役割の重要性を理解し、派遣ロータリークラブや地区、学校、地域社会、都道府県、および国を代表するよう選ばれた際は、私が全力を尽くす限りでロータリー青少年交換学生に求められる高い基準を維持することを証明します。さらに、私は本申請書式と添付書類に含まれるすべての資料は、私の知る限りにおいて、真実かつ正確であることを表明します。

## 申請者の保護者による宣言

申請者の本プログラムへの採用および参加に鑑みて、以下に署名した申請者の両親または法的保護者は、法の許す限りで、過失あるいは不作為から起こる可能性も含め、いかなる損失、物的損害、個人の死傷に対する責任についても、重大な過失あるいは意図的な行為がある場合を除き、受入国との往復の旅行中を含め本青少年交換プログラムに申請者が参加したことにより、または参加中に申請者、両親あるいは保護者が損害を与えた場合または申し立てをした場合、すべてのホストファミリーのメンバー、および派遣側と受入側のロータリークラブと地区、国際ロータリーのすべての会員、役員、理事、委員会委員、職員を解放し、免責し、保護しかつ損害を与えないことに同意します。

- 私たちは、交換のプログラム規定および条件を読み、理解し、それに従うことをここに表明します。
- 私たちは、青少年と接する際の行動規範に関する声明を読み、理解したことを証明します。私たちは、すべてのロータリアンおよびホストファミリーも同声明を読み、理解することを求められていることを承知しています
- 私たちは、申請者が受け入れ地区に旅行を行うことを承諾します。

【資料⑥-3】

Rotary District 2660 | rotary youth exchange

# 資料（抜粋）

## ホストファミリー・バンク登録へのお誘い

拝啓　日頃はロータリークラブ活動にご尽力をいただき誠にありがとうございます。
さて、早速ですが当地区は青少年奉仕活動の一環として「青少年交換プログラム」を実施する認定を国際ロータリーより受けています。
（注:青少年交換は国際ロータリーに認定された地区だけが実施できるプログラムです。）
このプログラムには長期交換・短期交換、新世代交換の3種類の交換プログラムがあり、中でも長期交換は国際理解と親善を推進するため、各クラブか海外のロータリークラブとお互いの高校生を交換し、相互の文化や習慣を体験させるもので、当地区は1994年度以降、延べ239名を20カ国以上（表1参照）と交換してきた実績があります。

このプログラムは参加する青少年だけでなく、受け入れるロータリークラブやホストファミリー、そして地域社会にも非常に多くの恩恵をもたらしています。

交換学生達は、青少年交換を通じて、他国での生活のあらゆる面をホストファミリーから学び、他国の教育制度を体験する事により、学業面でも人間的にも成長を遂げ、世界に対する視野が広がるとともに、自己に対する理解も深まります。

同時に、受け入れクラブ、ホストファミリー、そして地域社会全体も異文化出身の学生との親密な交流を通じて豊かになることができます。

従来はホストファミリーになりたくても、所属クラブが青少年交換プログラムに参加していないとその機会がありませんでした。
そこで、当地区青少年交換委員会は【ホストファミリーバンク】を設立・運営し、より多くの方にホストファミリーとしてロータリーの国際的な素晴らしい奉仕活動に直接参加する機会を提供しています。ロータリアン自身、または知人の方をホストファミリーとして【ホストファミリーバンク】に事前登録していただくことで、所属クラブに依存することなくホストファミリーを受けることができるようになりました。
ホストファミリーとして、私達の未来を託す学生と交流し、青少年の育成と同時に自身の見聞を広める機会を体験して下さい。

敬具

表１：第 2660 地区交換実績（1994 年度以降の相手国と延べ人数）

| 相手国 | 人数 | 相手国 | 人数 | 相手国 | 人数 | 相手国 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アメリカ | 91 | ハンガリー | 8 | インド | 2 | オーストリア | 1 |
| カナダ | 32 | ニュージーランド | 6 | スイス | 2 | メキシコ | 1 |
| ドイツ | 15 | ポーランド | 6 | スウェーデン | 2 | 台湾 | 1 |
| フランス | 25 | チェコ | 4 | スペイン | 2 | 不明 | 1 |
| フィンランド | 18 | ブラジル | 6 | ノルウェー | 2 | | |
| ベルギー | 9 | オーストラリア | 4 | アルゼンチン | 1 | | |

ホストファミリーバンク　登録要項

ホストファミリーの経験がない方には多くの不安があり、登録をためらわれるご家庭もあるかもしれませんが、実際に受け入れする場合には、ホストファミリーを対象にした説明会やオリエンテーションもご用意しておりますし、初めての方には短期間（春休みなど）の受け入れを体験していただく事もできますので、どの様なことでもご相談下さい。

※受入れ場所：第 2660 地区内、または近隣地区（通学可能範囲）
（受入学生の学校は複数あり、年度により異なります）

※受入れ期間：3 ヶ月前後（短期の登録も可）

※受入れ時期：受入れをお願いする時に改めて受入れの可否をお伺いします。

※受入れ辞退：ホストファミリーバンクへの登録はホストファミリーを強要するものではありません。ホストファミリーの事情を最優先しますので、受入れ時期やご家族の状況などにより受入れを辞退する事ができます。

※主な役割：　家族の一員（他の家族と同じ権利や義務を与える）として受入れ、日本（家庭）での習慣について適応できるように助ける。

※部屋の確保：原則として個室をしよう（同性同世代の同室も可能）

※外国語：　必要ありません。

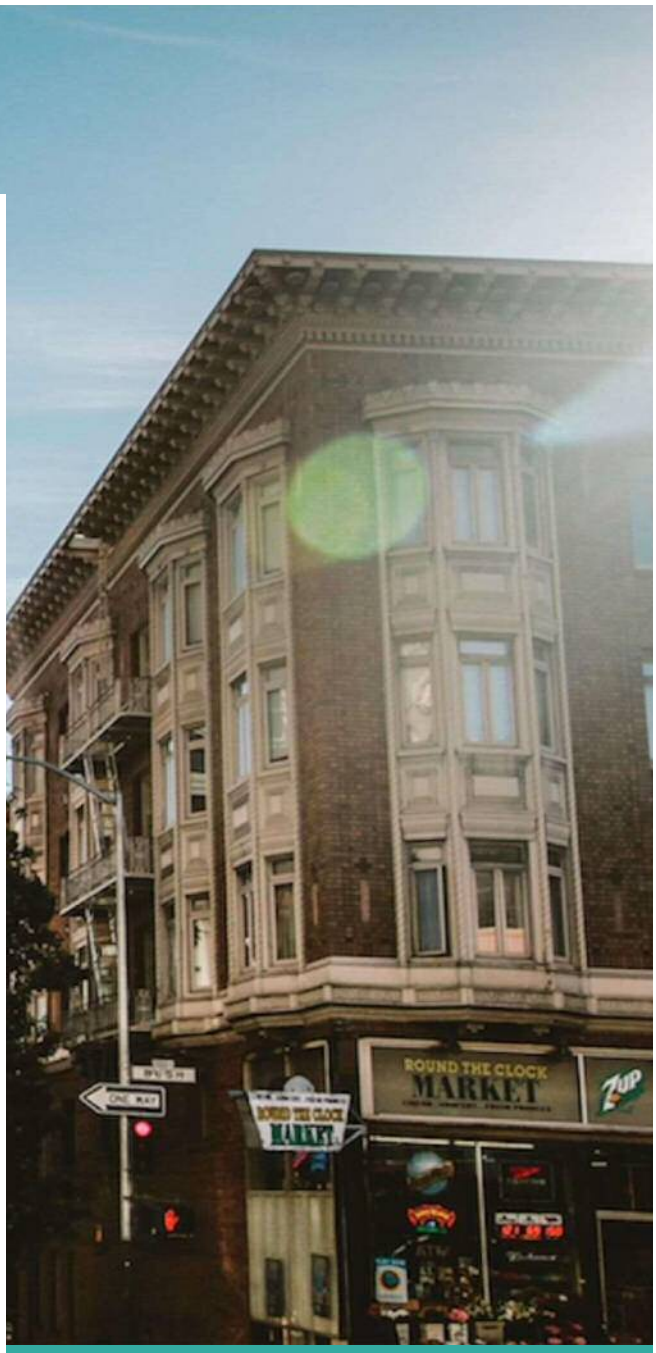
※登録手続き：添付の別紙「ホストファミリーバンク登録申込書」にご記入下さい。
（申込者がロータリアン以外の場合、推薦ロータリアンの欄もご記入願います。）

※申込先：　国際ロータリー第 2660 地区　青少年交換委員会　ホストファミリーバンク係
〒541-0052　大阪市中央区安土町 1-5-11　トヤマビル東館 6 階
TEL:06-6264-2660 FAX:06-6264-2661 Email:gov@ri2660.gr.jp

※その他：　詳細についてのお問い合わせは、ガバナー事務所までご連絡下さい。

【資料⑥-4】

# 2019－20 年度
# 青少年交換
# 派遣生報告書




ROTARY
CONNECTS
THE WORLD

国際ロータリー第 2660 地区

Rotary

# 長期交換期間レポート

## 古渕　日菜

2019 年 8 月 21 日、“伊丹空港から羽田空港に向かう飛行機で食べれるように”と母が持たせてくれた手作りのおにぎりと卵焼きの入った、昼食のお弁当を片手に、一人、日本を飛び立ちました。飛行機の小窓から小さく見える、友達と心配そうに見守っている両親の姿。当たり前のように感じていたこと、当たり前のように見ていた、この光景、当たり前が自分の中で当り前ではなくなってしまう瞬間を 1 人、密かに感じていました。

17 年間、ひと時も離れることなく、そばで見守り、ずっと支えてきてくれた、両親。私にとっての人生の心臓部分であった大事なパーツが欠けることにより、アメリカへ留学することへの期待や興奮よりも当時の私は、不安や緊張、寂しさの感情が大きく、飛行機が日本から離れていくにつれ、その感情もどんどん膨れ上がっていったことを覚えています。

日本からアメリカへの 13 時間にも及ぶ、フライト。なかなか食事や睡眠をとることができず、アメリカに上陸した際には既に疲れ切っていました。しかし、税関などがひどく混雑していた為、乗り換えが間に合わず、現地の方の助けを借りながらチケットを取り直し、9 時間以上もの間、1 人空港で過ごしました。当時は 30 度を超える猛暑がまだ続いており、ノースリーブ 1 枚とロータリージャケットのみで日本を出発していた私には 15 度を下回る夕方のアメリカでの気温は非常に寒く、孤独感を憶えるものでした。このようなアクシデントに見舞われ、ホストファミリーと午後の 3 時前に会う予定が夜の 11 時 30 分になり、12 時過ぎに家に到着し、シャワーを浴びて 1 時過ぎに就寝。次の日からはロータリーによる 3 日間の合同オリエンテーションの参加が義務づけられていた為、スーツケースからいくつかの必要品を取り出し、両親に報告の電話 1 本も入れられないままその日は準備をして寝ることにしました。次の日は、朝の 7 時過ぎに起床し、家を出発。24 時間もの飛行時間、乗り換えとアクシデントに加え、14 時間もの時差があったので、不安と疲労、留学生活初めの 1 週間はストレスで心臓の動機と髪

の毛が束で抜け落ち、湿疹や 4 キロもの体重減少、突然の 1 人でアメリカに来たという実感から孤独感でいっぱいでした。また、オリエンテーションでは、19 の異国の地からきている 20 人もの留学生と英語強化のため、ロータリアンの方々が計画をしてくださった様々なアクティビティを交えながら、英語でのコミュニケーションに取り組みました。私から見ると、ほとんどの留学生が既に英語を流ちょうに話せており、それは、ドイツから来ていた留学生をアメリカのローテックスと勘違いしまった程です。その日は、アメリカに来てまだ 2 日目でしたが、周りの留学生との英語力の差が決定的だったのに加え、テーマに沿って即興でグループに分かれて劇発表をするアクティビティの際には英語を話すことができず、とても恥ずかしく、悔しく、自分の無力さを感じ、ロータリーの集まりが少し、自分の中でトラウマとなった日でした。ですが、この 3 日間で発見したことが 1 つ。それは、日本と世界の英語教育の違いです。まず、英語教育のスタートが、どの国も小学 1 年生から 3 年生の間に始まっているにもかかわらず、日本は 5 年生から。また、日本では、なかなかスピーキングやリスニングを学ぶ機会が取れず、他の留学生と比べるとの力量差が目に見てわかるほどでした。アメリカに来て初めて、気づいたのはこの英語教育による文化の違いでした。

3 日間のオリエンテーションを終え、留学生活 3 週間目を迎えた 9 月 3 日、学校が始まりました。始業式が始まる数日前から同じ年のホストシスターの部活についていっていたこともあり、同じ学校に派遣されていたロータリーのドイツとブラジルからの留学生よりも少し早くなじめた気がします。まだその頃は、英語がたどたどしく、友達とコミュニケーションをとることも難しかったので毎日、ホストシスターに手伝ってもらいながら積極的に日常会話などの英語の勉強に励みました。学校が始まり、すぐにダンスチームに入部したことで、仲の良い友人、さらには親友まで作ることができ、週 5 回 2 時間のハードなスケジュールでしたが、辛いと思うことなく、9 月から 3 月までの約半年間、泊まりでの大会、試合の応援、すべてが楽しく、本当に色々な経験をさせてもらいました。その頃の週末の家の様子は、ファザーが牧師ということもあり、水曜日の帰宅後と日曜日は朝から礼拝、土曜日は、家族全員がそれぞれの用事で 7 時には家を出て行ってしまうので、朝起きるといつも誰もおらず、朝から晩まで家に一人の生活をしていました。週末はご飯も用意されず、どこにも行けず、英語を話してくれる人さえいませんでした。

日本では１人でいたとしても、自分の好きな時、好きなだけ遊びに行けることができ、常にだれかが側にいてくれ、１人でいる時間が少く、何でも自由に自分で決めることができました。ですが、アメリカでは、その好きなだけができず、ただでさえ、両親も知り合いも誰もいない異国の地での留学。私にとっては今後の人生をかけた大きな挑戦でした。それにも関わらず、毎週１日を一人で過ごすのはすごく心細く、寂しいものでした。初めは、せっかく快くホストを受け入れてくれた家族に感謝し、家の手伝い、沢山コミュニケーションを取ったりするなど、自分なりに家族に近づける努力をすることを心掛けていました。ですが、気づけば毎週日曜日には自分の部屋の掃除、一週間分×5 人分のランチパックの詰め合わせ、家族 7 人分の 1 週間分の洗濯物をホストシスターとブラザーの 3 人に任されており、50 足を超える靴下、１００着を超える洗濯物を 3 時間程かけてたたまされていました。こんなこともありました。ある日、5 分以内と決められていたシャワーから上がり、リビングに行くと家族全員でカードゲームをしており、そばに立っていても誰も声をかけてくれることもなく、ただ見ていると、ホストシスターやファザーに「地下にあるジュースを私たちのために取ってきて。」少し疑問に思いながら持っていくと、笑われ、さらにはマザーにはヘルパーさん呼ばわりまで。どうしてもこの距離感を埋めることができず、しょせんは他人だということを突き付けられ、その疎外感から、土曜日、日曜日はどこにも出かけることなく、部屋で過ごしていた時間が長かったように思います。放課後、部活も終わり、ホストシスターやブラザーのところに行くと、試合のことが多く、ファザーやマザーと合流。みんなは夕食を済ませてきていましたが試合の日程の知らない私は何か食べたいとお願いをすると、「なぜお金を持ってきていないの？」と怒られるのでいつも会場に売っているポップコーンを買い、食べながら 3 時間を待っていました。ご存じだと思いますが、携帯の件もそうです。勝手に壊され、修理を頼むと、新しい携帯を契約して、新しいのはマザーが使うのでマザーの古い携帯を使い、月 55 ドルを請求されるとのことでした。この件は、アメリカに住んでいた日本人家族に協力していただき、たまたまシカゴの都市に出張予定だったお父さんに直しに行ってもらいました。修理代は安く済んだからいいと言っていただきましたが、それを聞いたマザーはだめだと言って私の財布の中身をチェックし、「これで払いなさい」と 100 ドルを封筒にくるみました。このこともあり、携帯の修理ができなかったこと、新しい携帯を用意して私にマザーが使っていた

古い携帯を貸してあげるからと月 55 ドルを請求されたこと、どれも私に相談や報告もなしに行ったことで、なかなか納得がいかず、「用意してくれた携帯は使いたくない」と伝えました。この頃は学校から家に帰り、マザーと会う恐怖から毎日びくびくしながら生活をしていたことを、もう半年ほども前ですが鮮明に覚えています。他にも、過剰に怒られすぎたことがあると、少しして私の部屋に急いで降りてきて、これはあなたのためを思ってだからと説得されることも多々ありました。他にもお金の件で、もめたのは、この携帯が最初で最後でしたが、口論になったことやもめ事は数えきれないほどあったので、それを言うと切りがありません。マザーとは努力の甲斐もなく、うまくいきませんでしたが、ホストシスターやブラザーとはとても仲が良く毎日じゃれあってあって過ごしていた為、本当の兄弟のように感じていました。今でも、同級生のホストシスターとは毎日連絡を取り合う、大の親友です。この仲の良さやマザーに怒られる恐怖からホストチェンジをすることをなかなか言い出せずにいました。それを見かねた両親がアドバイスしてくれ、私が家を出ていくことが決まり、その直前までマザーは「私が携帯の修理代を出した。」など必死に泣きながらロータリーの方に訴えていました。私の目の前で、別れの挨拶もなしにです。次のホストファミリーもまだ決まっていませんでした。予定されていたセカンドホストファミリーの娘は、ドラッグ常習犯で、ロータリーのオリエンテーションでたまたま友達と撮った動画を、偶然、ホストファミリーに見せたところ、ドラッグをしていたところが写りこんでおり、判明しました。その結果、セカンドホストファミリーは辞退したそうです。こういうこともあり、まだセカンドホストファミリーが決まっていない状況だったので、知り合いの日本人の家に 1 週間、お世話になり、その間にロータリーの方から次の家族を自分で探すよう、伝えられていましたが、なかなか受け入れ先が見つからず、それを知った学校の先生が私を受け入れてくれることになりました。

日本人のお宅では、アメリカに来て初めてのご馳走ばかりを用意していただきました。お風呂もゆっくり入ることができ、この 1 週間で心身共にゆっくりと過ごせてとてもありがたかったです。

1 週間後、新しいホストファミリーの家に移動になりました。4 か月、お世話になったファーストホストファミリーの子供たちに会えなくて寂しさはありましたが、学校で会えることを楽しみに毎日頑張っていました。新しいホストファミリーの家では、ご飯の心配やお風呂、学校の行き帰りのお迎えも忘れることなく毎日本当の家族のように接してくれ、安心して留学生活、勉強、

様々なアクティビティに集中し、とても楽しく過ごすことができました。休日には、私の好きなスキーやアメリカで有名なバイクの博物館、観光名所などで遊んだり、文化を学んだり、いつもそばについて色々なことを教えてくださりました。英語力の上達を求め、ワンステップ上のレベルの英語の授業を受講した際には、放課後、家に帰ってきて夜遅くまで毎日一緒に勉強に励んでくれました。かわいい 3 歳と 5 歳のホストシスターからもなついてもらうことができ、可愛い目で私のことを「ママ。」と、いつも私の部屋に来て膝に乗ったりかくれんぼや、鬼ごっこをしたりして、その可愛さに癒されていました。そのころ、学校では明日の午後 4 時に学校を爆破するという爆破予告が届きました。学校中がそれを恐れ、学校を休む人も多数おり、私の所属していたダンスチームの大半の人も休んでいました。それを知らなかった私は、いつもと同じように学校に行き、友達とおしゃべりをし、変わらない生活をし、爆破予告日の午後 4 時過ぎに初めて友達からこんなことがあったと聞きました。何も心配することなく、ハッピーに過ごせましたが、本当に生きててよかったと思いました。アメリカでは日本と違い、予想もしないことばかりで、毎日が色々な驚きで溢れています。

美女と野獣のミュージカルでは、12 月にオーディションが行われ、1 月から合格者のみでの練習が始まりました。週 3 回ダンスが終わってから 9 時までの 3 時間、歌ったり踊ったりとてもハードでしたが、これまであまり接点のなかった人たちとの交流で一気に友達の輪が広がり、そのおかげでなんとなく学校生活もより充実したものに変わっていった気がします。1 つ、驚いたのは、最後に、出演者全員の投票で 1 番票を集めた人の大学進学が決まったことです。オーディションに落選し、悔しくて泣いていた人を見て、なぜそこまでするのか疑問に思っていましたが、想像以上のスケールに度肝を抜かれました。

また、留学生活の中で 1 番長い時間、一緒に過ごしたダンスメンバー。毎日の練習、バスケットやフットボールの試合、泊まり込みでの大会、沢山のアクティビティを通し、信頼、友情、国と国との壁を乗り越え、アメリカに来るまで想像もしていなかったくらいの本当に良い友達、親友、最高のメンバーに巡り合えました。テレビに出れたり、大会で優勝したり。おかげで私は一生の宝物となる、思い出のたくさん詰まったメダルを日本に持ち帰ることができました。アメリカでしかできないこと、貴重な経験をこのメンバーとともに出来たこと、楽しいことばかりで嫌なことが

あっても一緒にいれば安心でき、留学期間、私の心の支えだった、このチームに本当に入って良かったと心から思います。
コロナウイルスの関係で春休みに入り、学校の登校日の延長、学校に行けないまま、両親から 2 か月弱早い帰国の連絡。帰国が決定してから渡航日までの 2 日間という私に残された短い期間。お世話になった友達、親友、大好きなファーストホストファミリーの子供たちにも感謝やお別れの言葉も言えないまま帰国になってしまうことを悲しくもどうしようも出来ずにいると、沢山の友達、コーチも交えたダンスチームでの電話をする機会をサプライズとして設けてくれ、さらにはビデオレターや私の為に涙を流してくれた人もいました。マザーやファザーも涙を流してくれ、最後には、「あなたは私たちの家族で娘だからいつでも帰ってきてね。」とまで言ってくださいました。

留学前は、何でも私の代わりに行動し、困ったら手を差し出し、選択肢を迫られた場合にはアドバイスをしてくれ、嫌なことがあった時にはいつでも愚痴を聞いてくれる両親に甘え、頼り、それらを使って親の人生を生きてきました。限られた人のみでしかつかむことのできない留学という大きなチャンス。家族から離れたくないからという甘ったるい気持ちで留学をするか迷った時期もありました。ですが、アメリカに 1 人旅たち、困ったことがあれば自分で解決し、自分で自分を守り、自分でしか自分の道を開けないという人生においての大事な基軸となる部分を学んだことで 17 年間という長い時を経て、やっと自分で自分の人生を歩む決心がつけたような気がします。もちろん、英語力の面でも大幅に成長することできましたが、人間的に、これから生きる上で必要な力、今後必ず重要になる考える力を養うことができました。
18 歳を手前に、大人の階段を 1 歩上った今、将来を自分自身の力で生き抜いていけるよう、自分に足りないパーツを探しながら、これからも日々精進してまいります。

**23**

# フランス交換留学を通して

## 大塚　柊香

出発の日の朝、家族や友達そしてロータリーの方々に見送られてもなお、フランスに行くという実感がわかないまま、日本を旅立ちました。

フランスの１５１０地区で一番初めにパリの空港に到着した私は、ロータリーの方々に温かく迎えていただきました。

この日から、私の８ヶ月と３週間に及んだ冒険が始まりました。

私が派遣していただいた、フランスのドゥー＝セーヴル県にある人口約５万８千人の町ニオールでの沢山の思い出やエピソードを、ここからはカデコリーごとに分けて書き留めていきたいと思います。

[目次]

⑴　驚いたこと
⑵　フランス語
⑶　学校生活
⑷　ホストファミリー
⑸　ロータリー
⑹　食べ物
⑺　楽しかったこと、幸せだったこと
⑻　悔しかったこと、悲しかったこと、辛かったこと
⑼　現地で考えた自分の将来像

⑴　驚いたこと

まず空港について一番初めに驚いたこと、それは挨拶です。ロータリーの方々と初対面し、握手をしようと思い手を前に出しました。すると、握手はせずに私のほうに顔を近づけてきました。驚いた私は咄嗟に身を引いてしまいました。その後、フランスでは Bisous(ビズ)と言って、お互いの頬を軽く合わせることが挨拶だということを教えてもらいました。初対面でも異性でも、挨拶するときはいつもこれです。一つ厄介なのが、朝の学校です。幅が二メートルほどの廊下のあちらこちらでみんなが Bisous をするので大変混雑して、五メートル先にある教室に行くのも一苦労でした。面倒くさいと思ったことは、幾度となくありますが、初対面の人とでも距離を縮めやすいので、私はこの文化が好きです。ですが、コロナウィルスが流行してからは、滅多にしなくなり、とても違和感がありましたし、寂しく感じました。

二つ目に驚いたこと、というよりは意外だったこと、それはフランス人の性格です。留学前、フランス人はプライドが高く、最初は友達作りなど苦労するかもしれないと思っていました。しかし、私が出会った人々は本当に優しく、親切な方ばかりでした。とても話しかけやすく、そのおかげで多くの友達ができました。

⑵　フランス語

フランス語には、大変苦労させられました。派遣国が発表されてから、渡航するまでの約半年間、参考書を買ったり、語学のラジオを聴いたりして独学で勉強しましたが、発音や、動詞の活用など日本語とは全く異なる言語に、フランスに着いてからも二ヶ月程はとても大変でした。フランス語の名詞には、男性名詞と女性名詞というものがあり、これに至ってはフランス人に尋ねてもわからないと言われることもありました。何より、フランス人は驚異的な早口で、日本で聞いていた語学ラジオとの大差に、圧倒されるほどでした。

ですが、二ヶ月経ったあたりから、周りの会話を理解でき始め、その少し後からは、フランス語での簡単な会話も可能になりました。もともと、英語で会話ができていたので、友達やホストファミリーとのコミュニケーションに困ることは少なかったですが、これが逆にフランス語を使う機会を減らしていたと思います。みんな、私が理解しやすいように進んで英語を使ってくれていました。

仲の良い友達や、ホストファミリーには、フランス語で話すようお願いしていましたが、やはり、この時点で、フランス語で会話を成立させることは難しく、気が付けば英語に戻っていました。私自身も自分のフランス語が拙いということを理解していたので、度々フランス語で話してくれと、頼むことが出来ず、もどかしい想いをしていました。

フランスには、約二ヶ月に一度、二週間ほどのバカンスと呼ばれる休暇があり、フランスに来て二ヶ月、丁度、語学のことで悩んでいたころ初めてのバカンスを迎えることになりました。当時、私は第一ホストファミリーの家に滞在していたのですが、彼らが遠方へ旅行に行くことが決まっていたので、第二ホストファミリーの家でバカンスを過ごすことになりました。私より一つ年上のホストブラザーを含め、家族全員が沢山フランス語で話してくれたお陰で、休暇明けに学校へ行くと、クラスメイトや友達が私のフランス語の進歩に驚いたり、褒めてくれたりしました。自分自身では、それほど実感がなかったので、他人に言われて初めて気づきました。以前は、フランス語が話せず焦ることもありましたが、この頃を境に、言葉が話せないことをネガティブに捉えるのではなく、まだ伸びしろがあると前向きな発想になりました。

その後も、度々バカンス後や久々に会う人には褒めていただくことが多く、自分でも先月は出来なかった会話ができるようになっていることに気づいたり、実感したりすることがあり、嬉しく感じると同時に、もっとフランス語を話せるようになりたいと思いました。

帰国間際には、ホストブラザーと言い争いをしたり、ジョークを言ったり、完璧とは程遠いですが、フランス語で楽しく会話できるようになっていました。

次、いつフランスに戻っても、友達やホストファミリーと楽しく会話できるように、これからもフランス語の勉強に励みます。

⑶　学校生活

私は、ニオールにある私立の高校で、日本だと高校一年生にあたる学年で一年間過ごしました。私の学年には、ロータリーを通してアメリカとチリから、一つ上の学年にはニュージーランドから、そして同じクラスにはスイスからの留学生がいました。

フランスの学校は日本のものとは雰囲気がとても違い、大学のようだなという印象を受けました。初日にはクラス発表があるので、全生徒が外で先生の指示を待っている状態でした。大勢の人に圧倒されていた私に、今でも連絡を取り合っている友達のリラが声をかけてきてくれました。授業中も、隣の席で説明してくれたり助けてくれたりしました。お昼ご飯も一緒に食べ、休日に遊ぶこともありました。私の中で、彼女の存在はとても大きく、彼女のいない学校生活など考えられません。

もう一人私の学生生活に欠かせない人がいます。それは、スイスからの留学生で同じクラスだった、アメリーです。彼女は秀才で、考え方もしっかりしていて、芯があって、同じ歳ですが、本当に尊敬しています。親の職業の関係で、コロンビアで生まれ育った後、八歳でメキシコに移住し、三年前からスイスに住んでいるそうです。そして、彼女の父がドイツ人、母がメキシコ人なので、ドイツ語とスペイン語が母国語、スイスで主に使われているスイスジャーマン（スイスの訛りが強いドイツ語だと言っていました）と英語もほぼネイティブ、フランス語もほぼ完璧、イタリア語は話せないけど九割以上は理解できると言っていました。想像を絶する言語能力に驚きを通り越して、感動すら覚えるほどでした。幼少期に大変な想いをしたこともあり、少しの失敗や困難では絶対に挫けない強さを持っていました。色んな事に躊躇いなく挑戦する姿は、本当に憧れさえ抱きました。

彼女と過ごす時間は、笑っていない時がないくらい楽しく、彼女の生い立ちの話を聞くのが私の楽しみの一つでもありました。お互い帰国してしまった今でも、毎日連絡を取り合っています。近い将来またすぐに会えることを心から願っています。

フランスは、日本の次に漫画が普及している国で、漫画のファンやアニメのファンの子に沢山出会いました。私が日本人だということを知ると、「この漫画って日本でも有名なの？」や「今日本で流行っているアニメは？」と質問攻めにあうこともありました。私はそれほど日本のアニメに詳しくなかったので、特に人気だった『ナルト』を第二ホストブラザーと一緒に見ていました。アニメの影響もあり、日本の文化に興味がある人が多く、そのお陰で交友関係が広がったので、日本の漫画文化には本当に感謝しています。

**27**

地理の授業で、「日本」が出てくることもありました。フランス語なので、全て理解できたわけではありませんが、母国の話になるとやっぱり嬉しかったです。特に戦後の高度経済成長の話や、国土面積が小さいにもかかわらず世界的な経済大国であるという授業の時には、他国の授業でも取り上げられている日本が誇らしかったです。

好きな教科は、体育でした。特にバスケットボールなどのチーム競技では、色んな人と話せたり、点数を決めた時には、一緒に喜んだり、フランス語を流ちょうに話せなくても、活躍でき、気づけば毎週木曜日の午後が私の楽しみの一つになっていました。

フランスと日本の学校には、沢山の違いがありますが、私が個人的に一番大きな違いだと思うのは、発言の多さの違いです。フランスと日本では、フランスの方が圧倒的に発言の回数が多く、先生が質問していなくても、自分の意見を発表する生徒もいました。グループワークや、プレゼンテーションも多いので、授業中に居眠りする生徒はいませんでした。

最初は、授業もわからないことばかりで、友達が話しかけてきてくれても、思うように会話が続けられず、悔しい想いをしましたが、先生方は私のフランス語のレベルを理解し、私がクラスで居辛くならないよう配慮してくださり、親切な友達やクラスメイトは、沢山話しかけてきてくれたり、一緒に過ごしてくれたり、全くフランス語が話せなかった私を友達として迎え入れてくれて本当に感謝してもしきれないです。

⑷　ホストファミリー

ホストファミリーは、本来、三家族まわるはずでしたが、私はコロナウィルスの影響で早期帰国したので、結局は二家族としか過ごすことが出来ませんでした。

一つ目の家族、PRAUD ファミリーには、両親と、私の実の妹と同じ年で十三歳のホストシスターがいました。ホストマザーとシスターは英語を話せたので、初めからコミュニケーションに困ることはありませんでした。とはいっても、私は初めの頃、全く、フランス語が話せなかったので、第一ホストファミリーは大変だったと思います。両親は二人とも会社の経営者だったので、夜遅くに帰ってくることが多く、晩御飯はホストシスターと二人きりで食べることもありました。その時は、決まってテーブルではなく、ソファーでテレビを見ながら食べました。ホストシスターから、両

親には絶対に言わないよう、強く口止めされており、最後まで両親に告げることはしませんでした。

第一ホストファミリーはディナーに招待したり、されたりすることが多かったのですが、招待された場合、家に着くのは午前一時くらいがほとんどで、翌日に学校があった場合、目を開けておくのに必死でした。

第一ホストファミリーは、クリスマスに Nantes、そして二月のバカンスには Val Thorens という、ヨーロッパで最も標高が高いスキータウンに一週間ほど連れて行ってもらいました。あたり一面が真っ白な雪世界で、天気が良い日も多く、本当に素晴らしい時間を過ごせました。ホテルでは、私の大好物のラクレットや絶品のお肉を食べ、みんなでカードゲームをしたりしました。前よりも増して、仲が深まったと思います。

初めてのホストファミリーということもあり、どのように接すればいいかわからず、とてもしんどい時期もありましたが、私の誕生日にはホストマザーが友達を招いてサプライズパーティーをしてくれたり、沢山おいしい料理を食べさせてくれたり、私がフランスに到着してから、ホストチェンジをした十二月三十日までの約四ヶ月間、本当にお世話になりました。

第二ホストファミリーとは、年明けから私が帰国した五月十六日までの期間一緒に過ごしました。最初は長男で十八歳のホストブラザーと両親だけでしたが、三月の中ごろに外出禁止令が発令されてからは、大学のためパリにいたホストシスターと、四月後半にはペルーに留学していた次男で十六歳のホストブラザーが帰ってきました。兄弟三人ともにぎやかな性格で、三人そろってからは毎日がお祭りみたいでした。

ホストファザーがラグビー好きなので、ラグビー観戦に行ったり、ホストシスターがハンドボールをしていたので、ハンドボール観戦に連れて行ってもらったりしました。プロの方々の試合を間近で観るのは初めてで、点が入った時の盛り上がりや、人と人とがぶつかり合う瞬間は大迫力で、とても興奮しました。

そして、ホストマザーには、二度もパリに連れて行ってもらいました。一度目は、エッフェル塔とヴェルサイユ宮殿、二度目はディズニーランドへ行きました。ヴェルサイユ宮殿へは、留学前から行きたいと切望していたので、心の底から喜びました。宮殿の装飾は予想以上に煌びやか

で、目が離せませんでした。少し前までは教科書で見ていた建造物の中に自分が立っているということが、本当に不思議でした。
ディズニーは、本当に夢の国という感じでした。乗り物やお城などのすべてがかわいくて、終始きょろきょろしていたのを覚えています。

第二ホストファミリーの家に行く頃には、もうフランス語が話せるようになっていたので、晩御飯の時などは、学校での出来事や文化の違いなど、沢山話しました。長男とは、一緒に過ごす時間も長く、とても仲良くしていました。どちらの靴がおしゃれか、言い争いをしたり、水着を着ていないのに家のプールに落とされたり、散々でしたが、どれもこれも仲が良いからこそできることだと思います。

休校期間中は、デザートの作り方を教わったり、カードゲームをしたり、お腹を抱えて笑わなかった日はないと思います。数週間前にお別れをしたばかりですが、もう既に会いたいです。私を本当の家族のように迎え入れてくれる人たちに出会えて本当に幸せです。

⑸　ロータリー

１５１０地区には、世界の１５カ国から集まった３４人の交換留学生がいました。約２か月に一回、地区のメンバーと様々な観光地をまわったり、スポーツをしたりするオリエンテーションがありました。その中でも特に印象に残っているのは、１２月と１月のオリエンテーションです。１２月は一泊二日で、グループに分かれて Tours と Amboise の観光地を巡りました。一日目の夜には、各自家で作ってきた自国の料理をふるまいました。友達からのリクエストもあり、私はお寿司を作りました。みんなの口に合うか不安でしたが、沢山の方においしかったと言ってもらえて本当に嬉しかったです。

１月のオリエンテーションは、来年度フランスから他の国へ派遣されるはずだった生徒へ、フランス語でのプレゼンテーションでした。国ごとに分かれて自国の紹介をするという内容だったのですが、日本人が私一人しかいないので、全て一人ですることになりました。会場には地区の関係者の方々、派遣生、派遣候補生、そしてその両親で席がいっぱいでした。その日まで、自分の言いたいことを紙に書き、何度も何度も練習しましたが、ステージに立った時には膝の震

えが全く止まらないし手汗は酷いし、過去最高に緊張していました。発表している最中は、生きている心地がしませんでしたが、発表後の達成感も過去最高でした。委員会の方々や友達にも沢山褒めてもらい、本当に嬉しかったです。

行動を共にするのは、アジア出身の友達が多かったですが、色んな国の人と会話することで、言語の違いはもちろん、習慣の違いや食べ物の違い、考え方の違いなど、日本にいるだけでは知りえない、興味深い話が沢山出来ました。日本に興味を持ってくれている子も多く、世界中の人々の心を惹く母国を心から誇りに思いましたし、もっと日本について勉強しようと思いました。

色んな国の子たちと話す中で、スペイン語を話す女性は勝気な人が多いと思いました。

ホストロータリークラブでは月に一回のディナーがあり、会員の皆様との談笑を楽しみながら、おいしいディナーをいただきました。月に一回というスパンが、丁度フランス語の進歩が顕著に表れるらしく、本当に毎回褒めていただきました。ロータリーの方々を含め学校の友達や先生方、ホストファミリーなど、周りにはいつも私の成長を認めてくれる人がいて本当に幸せでした。

⑹　食べ物

フランスの食べ物は、本当においしいものばかりでした。特にフランスパンやデザートは、私の大好物でした。味だけでなく、見た目も形も芸術的で作品のようでした。チョコレートクリームは絶妙な濃さと極上の舌触りで、想像しただけでお腹が減ってしまいます。フランスでは、毎日異なる種類のものを食べ続けても、かぶることがないほど豊富な種類チーズがあります。フランス人は毎食後、雑談をしながらフランスパンとともにそれらのチーズを食べるのですが、残念なことに私はカマンベール以外のすべてのチーズをそのまま食べることはできませんでした。ですがピザや、ラクレット（ポテトに、熱してトロトロにしたチーズをかけて食べる料理）などの熱を通して溶かしたチーズは大好きでした。ラクレットはいつも食べすぎて、次の日に腹痛に襲われる時もありました。おいしいものに囲まれて過ごしたおかげで、合計十キロも太ってしまいましたが、この脂肪にはフランスで食べたご馳走が詰まっていると思うと、落としてしまうのも惜しいくらいで

す。普段の食事もパスタやステーキなど、豪華なものが多く、食べ物はフランスに来て良かったと思える、大きな要因の一つです。

⑺　楽しかったこと、幸せだったこと

今思い出せるほとんどの思い出が楽しかったことばかりです。

放課後、友達と街に出て買い物をしたり、カフェで雑談したりしました。アメリーとは頻繁に出掛けました。他愛もない会話で盛り上がって二人で大笑いしたり、お互いの悩み事を相談しあったりしました。二人でよく「出会えてよかったね」「また絶対に会おうね」という会話を数百回以上しました。

第二ホストファミリーには、年の近い兄弟も多く、休校期間中ずっと家にいたので一緒に過ごす時間が一番長く、本当の家族のように接してくれて、私も本当の家族のように慕っています。

色んな場所へ観光に行った素晴らしい想い出も沢山ありますが、私が幸せだと感じたのは、私を迎え入れてくれる友達や家族がいて、心から愛されていると感じる日々の平穏な瞬間でした。そう思える人々に出会えたことは、私の人生において大きな財産です。

⑻　悔しかったこと、悲しかったこと、辛かったこと

最初はホストファミリーに馴染めず辛い思いをしたり、思うようにフランス語で会話できず何度も悔しい思いをしたりしましたが、何よりも悔しいのは、世界中を恐怖に陥れたウィルスにより、この交換留学を中途半端な形でで終えなければならなかったことです。幼いころからの夢で、高校に入ってせっかく掴み取れたチャンスだったので、ユーロツアーやその他の楽しみにしていたイベントが中止になり、一緒に支えあった留学仲間が帰国していった時の喪失感や絶望感は予想以上でした。

なので、この時期に帰国したことを後悔しないよう、今度フランスに帰った時に恥ずかしくないよう、日本でも目標に向かって頑張りたいと思います。

⑼　現地で考えた自分の将来像

小さいころから海外や語学にとても興味があり、その頃から漠然と将来は日本だけでなく海外でも活躍できる人になりたいという思いがあり、その思いは今も変わっていません。

また、フランスという移民が多い国で過ごしているうちに、移民問題や差別、発展途上国の困窮なども身近に感じるようになりました。私たち日本人は世界一と言っても過言ではないほど安全で清潔な国に住み、このように自分が将来どうなりたいか話すことが出来ますが、世界にはその日をどう生き抜くか考えるので精いっぱいの人が沢山いると思うととても悲しく思います。それと同時にいつか自分もそういう人々の助けになりたいとも思います。

自分の未来がどうなるかわからないですが、今思い描いていることが少しでも実現できていたらいいなと思います。そして、過去を振り返った時に、あの時フランスに行ってよかった、役に立ったと思える人生を送りたいです。

私は、どの国へ行きたいか問われたとき、アメリカかヨーロッパと答えました。フランスに行くと聞いた時は、少し英語圏を羨ましく思う気持ちもありましたが、フランスでの生活を終えて帰国した今言えるのは、フランスが私の行くべき国だったということです。私をフランスに派遣して頂いた皆様には本当に感謝しています。しんどいこともありましたが、ほとんどの思い出が素晴らしい思い出ばかりで、また会いたいと思えるような友達やホストファミリーにも出会いました。フランスでの様々な経験を通して、自分自身の成長を実感したり、自信を持てるようになりました。

フランスでのこの経験は、私の一生の宝物です。

私をフランスに派遣してくださり支援してくださった皆様、そして応援してくれた全ての人への感謝の気持ちとともに、このレポートを締めくくりたいと思います。

本当にありがとうございました。

# 台湾交換留学レポート

## 田原陽二郎

⑴　言語

台湾では中国語と台湾語が主に使われています。この二つは完全に別の言語で互換性もなく、日本の方言のようなものとは全く違います。また、使用者の年齢層もかなり違います。台湾語は比較的高齢な方が使い、中国語はほぼ全年齢の方が使います。若年層の方にも台湾語を話す方はいますが、聞き取れるだけで話せないという方や、全く喋れないという方も少なくないです。

⑵　学校

私が派遣していただいた地区では午前中三時間は大学で中国語の基礎講座、午後からは現地の高校へ登校というスケジュールで生活していました。大学の講座では先生が英語を使って中国語の授業をしているのですが、新鮮で良い体験ができました。ここでは他の国からの留学生と交流を深めることができました。午後の高校へは昼食を取った後に各自登校です。ここではあまり良い思い出がないです。授業内容は現地の高校生が大学進学に向けてやっている内容なので、私の中国語力では当然理解できるわけもなく、ではその時間を他のことをして有効活用しようとしても留学生用に設けられたルールが厳しく、ただただ椅子に座ってぼーっとするだけの無駄で苦痛な時間でした。正直言って高校で過ごす時間が大嫌いでした。

⑶　ホストファミリー

派遣中に３つのホストファミリーにお世話になりました。台中南クラブには派遣生が３人いて、３ヶ月経つと、同じ日にローテーションするという方法を取っていました。やはりどの家庭も生活様式や、家族の性格も違うのでとても面白かったです。

ただ、やはり家族ではない他人と生活する難しさも感じました。それと同時に今の家族に対するありがたさを再確認できました。

⑷　ロータリアン

先述のホストファミリーの方は全員ロータリアンでした。

また、ロータリアンの中には日本に支社を持っている方もいて、日本語を流暢に話せる方もいました。

⑸　友人

台湾の友人だけでなく、外国人の友人も沢山できました。台湾は日本よりも青少年交換に力を入れていると感じました。一つの地区に 20 人以上の派遣生がいました。なので、台湾だけでなく、様々な国の国民性を同時に見ることができました。特にブラジルの子とオーストラリアの子と意気投合し、帰国した今でもよく連絡を取り合う仲です。

⑹　見たもの

年越しの台北 101 のカウントダウンをロータリアン引率の元、派遣生全員で台北へ見に行きました。台北 101 から大量の花火が打ち上げられる様子は壮観でした。また、他の地区からも 200 人ほどの派遣生が集まっており、国際交流もしてきました。

⑺　食べ物

同じアジア圏でお隣さんということもあり、そこまで大きな違いは感じなかったです。私は米大好き人間なので、毎日晩御飯では 3 杯お代わりして食べていました。ですが、夜市に出ると、日本の祭りの屋台とは一風変わった食べ物が沢山ありました。特に変わっていたのが臭豆腐です。名前の通り臭い食べ物なのですが、匂いを例えると生ごみをドブに捨てたような匂いでした。しかし、食べてみるとピリッとした辛味がきいて美味しかったです。

⑻　楽しかったこと

やはり最後の旅行が楽しかったです。コロナ禍で他のほとんどの地区が旅行取り止めにしている中、うちの地区ガバナーが go サインを出してくれて、旅行に行くことができました。澎湖という島に 5 泊 6 日で行きました。そこでは、毎日海でマリンスポーツを楽しみました。

⑼　悔しかったこと

書くことが思いつかないくらい楽しくて素晴らしい交換留学をしてきました。
小一時間考えたのですが思いつかなかったです。

⑽　悲しかったこと

やはり友達との別れが悲しかったです。涙こそ出なかったものの、帰りの飛行機の中では、なんとも言えない喪失感と虚無感に襲われました。他の派遣生はヨーロッパやアメリカ、ブラジルから来ている子が多く、日本と離れているためすぐに会うことができません。他の子達は帰ったら会おうねと言っている中、自分だけそこの会話に入れなかったことが悲しかったです。

⑾　辛かったこと

辛かったことは留学中にあったかもしれないけど、乗り越えたらそれが喜びに変わっているので特に思いつかないです。

⑿　現地で考えた自分の将来像

日本語、英語、中国語の 3 ヶ国語を活かした仕事をしたいなと思いました。また、台湾の教育現場に触れて、台湾の大学に進学したいと考えています。今はそれに向けて、情報収集と中国語の勉強を開始しています。
今回留学の機会を与えて頂いた上に留学中のサポートまでしたくださった 2660 地区の青少年交換に関わった全てのロータリアンの方々に心からの感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

# 青少年交換プログラムを終えて

## 村西ほのか

私は 2019 年 8月25日に日本を出発し、2020 年 3月23日に日本へ帰国しました。
約 7 ヶ月アメリカ　ミネソタ州へ派遣させて頂きました。
この 7 ヶ月間アメリカへ行って私が学んだことと、辛かったこと、楽しかったこと、嬉しかったことなどを伝えたいと思います。
ミネソタへ着いた日、車で空港まで出迎えに来てくださった私のロータリーの担当の方々が Welcome to Minnesota と看板を立てて下さりそのおかげで迷うことなくすぐに見つけることが出来ました。不安でいっぱいだった私は、すごく安心しました。その日は時差ボケが酷く着いた次の日の朝は昼まで寝てしまい、ホストマザーが心配して起こしてくれました笑
ファーストホストファミリーは Rick と Jodi 夫妻と犬が 2 匹猫が 2 匹の家庭でした。ここでは約 5 ヶ月もの間お世話になりました。
夫の Rick は私の学校の先生で歴史を教えていました。アメリカの学校では自分で授業を選択することが出来るのですが、私は歴史が苦手なので取りませんでした笑　なので休憩時間や昼休みなどに会うくらいでした。学校へはいつも車で送り迎えしてもらい、先生なので朝早く学校へ行かなくてはならないので私も早起きを頑張りましたが、最初は少し辛かったです笑
Rick はとても面白く、親しみやすい人でした。今では、自分の父のような存在です。
困った時は助けてくれて、よく冗談を言って笑かしてくれました。
妻の Jodi は大学で働いていました。私達よりも朝早くでて出勤するので、驚きました。アメリカは基本的に朝早く出勤し、夕方までには帰宅するのが一般的でした。残業などは家でという形で、日本とは違うなと思いました。Jodi は、とても優しく、賢い人でした。本当の母のように接していました。料理や、言葉、ミネソタのことなど、色んなことを最初に教えてくれました。その中でも特に印象に残ったのが、料理です。お菓子作りから日本の料理まで一緒に作ってくれ

ました。日本料理では寿司を一緒に作りました。ミネソタは海に接していないので魚がとても高く、驚きました。アメリカでの寿司は主に巻き寿司で、にぎりの寿司はあまり好評ではなかったです。

ここのファミリーと留学の半分以上を過ごし気づいたことがあります。留学では、もちろん英語の習得は大事ですがホストファミリーとの関係はとても大切だと知りました。私は、ミネソタの中でも田舎の方でしたが人に恵まれたおかげで、とてもいい留学生活を送れたと思います。

ファーストホストファミリーには、最初から最後まで支えてくれました。とても感謝しています。

次にセカンドホストファミリーについてです。

Dave と Marci 夫妻と、Owen、Callie、Everett の子供 3人の家庭でした。ファーストホストファミリーでは小さい子供がいなかったので、初めて子供達と生活することがとても楽しみでした。

Dave は私の学校の先生で、障害などを持っている子供たちのサポートをしていました。Marci は小学校の先生で、家より少し離れたところでした。兄の Owen は 12 歳、妹の Callie は 10 歳、弟の Everett は 8 歳でした。私には兄妹がいなかったので、仲良くなれるか心配でした。Callie は私をお姉ちゃんのように思ってくれてとても嬉しかったです。男の子達とは、やっぱりどう接したらいいのかわかりませんでした。弟の方は、感情の浮き沈みが激しく兄の Owen とよく喧嘩をしていて、私にとっては新鮮でした。

子供たちの友達が良く家に遊びに来たりしてご飯を食べるので自然にその子達とも仲良くなれました。小さい友達ができて、嬉しかったです。

ここでは、よくみんなでカードやボードゲームをしました。アメリカにはたくさんの種類のゲームがあり、おもしろかったです。その中でも、sequence というカードとボードどちらも使うゲームが 1 番のお気に入りでした。
料理もたくさん作りました。ここでも、日本料理であるうどんを作りました。子供たちにはとても人気で、嬉しかったです。

セカンドホストファミリーとは、コロナの影響で 3 ヶ月弱でお別れになってしまいました。ここでは、共有することを学びました。みんなで何かを共有する例えば手伝いなどです。みんなで、役割を決め掃除や何かを共有することは家ではあまりなかったので凄く勉強になりました。

アメリカで感じたことは、あまり人の事を悪く言っていない事です。
友達といても、ホストファミリーといても仕事の愚痴や友達の悪口などを言っていないことに気づきました。人の事を悪く言わないのは当たり前のことかもしれませんが、私にとっては新鮮でした。
友達は、最初はどう話しかければいいんだろう、嫌われたくないなど凄く遠慮していましたが、段々自分を出していくと自然に友達ができました。でも 1 番出来やすかったきっかけは、クラブです。夏から秋までは水泳部、秋から冬まではバスケ部マネージャー、冬から春まではソフトボール部に所属していました。最後のソフトボール部はコロナの影響で 1 週間程しか練習などが中止になり、とても楽しみにしていたのでショックでした。このクラブでたくさんの友達ができました。笑顔で話してみると自然に相手も笑顔で話してくれるので安心します。

学校行事は、秋にホームカミング、冬に snow dance がありました。日本

の高校ほど、多くありませんでした。ホームカミングとは、卒業した生徒たちが母校に戻ってきて、何人かの男女の組で男だったら誰が King か女だったら Queen かを決める行事です。他にもアメリカフットボールの試合を見たりしました。この時には、もう雪が降っていて凄く寒かったです。snow dance は、みんなおめかしをして DANCE をする行事です。女の子はドレスを着用するのですが、私は持っていなかったので Jodi に貸してもらいました。日本には、ダンスの文化があまりないので不思議な感じでした。

7ヶ月の私の留学レポートは、ここまでです。
最後にロータリーの皆様と父と母にミネソタへ派遣させて頂き、本当にありがとうございました。
コロナのせいで、今までにない形で留学は終わってしまい悔しいですが皆様のおかげでとてもいい経験になりました。
英語は、ヒアリングはだいぶ出来るようになりましたが、自分から中々話すことが難しかったので機会があればまた留学へ行きたいです。そのためにも英語の勉強をもっと頑張ろうと思います。
私を支えてくれた全ての皆さんに心から感謝しています。
本当にありがとうございました。

# 派遣から帰国まで

## 木村　月音

◆ロータリークラブでの活動◆

9 月 12 日～9 月 14 日に初めてロータリークラブのオリエンテーションが二泊三日であり、各国の留学生と会いました。一日目はみんなの名前を覚えるために、輪になってボールを投げキャッチした人の名前と出身国を言い合うというゲームをしました。そこで北海道から来た Koo という日本人の男の子と会って少しホッとしました。それからホストファミリーと家に帰るんですが Waverly からオリエンテーションが行われた Cooperstown というところは車で約 2 時間くらいあるので私は Cooperstown に家があるロータリアンの人の家に泊まらせていただきました。すごく優しくて私のほかに 3 人泊まったのですが、私たちのためにアップルパイを作ってくれてそれがとても美味しかったです。二日目はオリエンテーションが行われた高校の学生の一日の授業を一緒にうけました。そして午後からは、高校の隣にある小学校の子供たちに自分の国を紹介しました。ですが、質問された内容が分からず答えられなかったのが残念でした。夜には留学生の皆とバッチを交換し、キャンプファイヤーで焼きマシュマロを食べたり、2 チームで暗闇の中銃を撃ちあい対決するゲームをやりました。そして 9 月下旬にニューヨークを回るバスツアーに参加しました。二泊三日で美術館や博物館、中華街に行きました。一番楽しかったのはブロードウェイでのミュージカルです。今はハロウィンの季節なのでビートルジュースという幽霊が家に訪れる人を脅かしていくという内容で面白かったです。

10 月上旬国際ロータリーとの食事会があり留学生が各テーブルに二人すわり 2 組のロータリアンの方に自分の国を紹介しながら食事をしました。緊張していたのですが私の住んでいる街や自分の好きなことを話せたので良かったです。私が話していたロータリアンの息子さんが日本の「ナルト」というアニメが好きらしく私もそのアニメは見ていたのでその話で盛り上がって楽しかったし日本のアニメが好きだと言ってくれて嬉しかったです。
ホストクラブではパンケーキｄａｙという日があり一日パンケーキを食べにくる町の人に自分たちで作ったパンケーキを食べてもらいながらロータリーの活動を知っていただくという交流イベントに参加しました。
11 月上旬二泊三日のオリエンテーションに行ってきました。当初の予定では 2 日目に一日学生と一緒に授業をしプレゼンテーションをやる予定でしたが一日目から雪がすごくて外出禁止だったのでホストファミリーと一緒に映画を見ていました。三日目はアウトバウンドの学生とプレゼンテーションの内容を一緒に考えました。その後自分の町について紹介しました。

◆学校活動◆
9 月 5 日から学校が始まったのですが、学校の仕組みの違いに驚いています。日本では自分の教室が決まっていてそこで授業を受けるけど、アメリカでは 1 教科ずつ教室が違い自分がとっている授業の先生の教室に行って授業を受けます。あとチャイムがないのも驚きました。時計を見て時間になったら教室から出ていくので最初は戸惑いました。あと休み時間が三分しかないので、廊下は移動する生徒であふれかえっていて移動が大変です。いいと思うところは、1 時間 fall study hall という自習時間があるのでその時間で今日出された宿題とか自分のしたい勉強ができるのはいいなぁと思います。
私は数学、理科、英語、社会、美術、体育の授業を受けているのですが、まだ授業の内容が分からないとこが多く友達にプリントを見せてもらったり、先生に手伝っていただきながら何とか授業に付いていっています。体育の授業はアーチェリーをしたりプールでカヌーをしたりと日本にはない授業ばかりで、とても新鮮で楽しいです。社会の授業は 9 月 11 日にアメリカで起きたテロのことについて学び、日本でも勉強して知っていたつもりでしたがビデオを見て先生の話

を聞くとリアルで悲しい出来事だったんだと再確認しその日は町にたくさんの国旗がたてられているのを見るとこの出来事はアメリカの人たちの心に強く残っているのだろうなぁと思いました。
10 月上旬にアートクラスの行事で美術館に行きました。そこで 4 人グループになってクイズを解くというものをやり、喋ったことのない人がチームの中にいたのですがクイズを解いていくうちにだんだん仲良くなり新しい友達になれたのが嬉しかったです。美術館の作品の中には日本の土器や甲冑、刀などが展示されており日本のことを知ってもらえる機会にもなり嬉しかったです。
11 月下旬学校がホームカミングデーだったのでパレードに参加したりフットボールの試合を見たりダンスパーティーに参加したりと楽しかったです。
アートクラスで陶土器を作ったのですが 1 か月かけて粘土から少しずつ形を整えてコップにしていくのは大変でした。しかし形が整ったら色を塗ってまた固めてと繰り返して完成させたコップは一生の宝物になるくらいお気に入りになりました。
12 月上旬ダンスパーティーがあり私も参加したのですが友達にもらったヒールが１０ｃｍのヒールでそのサイズのヒールを履いてダンスをするのはかなりしんどくてほとんど踊れなかったのですが楽しかったです。学校は冬休みに入り友達とも会う回数が減ってしまって少し寂しいです。
ヨガの授業が体育の時間にあったのですがヨガのポーズをしてキープするのがしんどくて腹筋が痛くなったのでヨガは案外腹筋を鍛えられるんだなぁと思いました。その授業の中に 10 分間リラックスして寝るという時間があり音楽がかかってほんとに寝てしまったのですが 10 分間でほんとにスッキリして日本にはない授業スタイルだなぁと思いました。
バレーボール大会があり私も参加しました。全然ボールが上がらなかったのですが、一、二回返すことができました。でもすごく手の甲が痛くなって強いスパイクが決められるのはすごいなぁと改めて思いました。
そして 3 月上旬学校はコロナウイルスの影響で家庭勉強になりました。パソコンで先生とやり取りをし、送られてきた宿題をやり出来たら先生に送るというのを 3 月はしていました。

◆家族◆

9 月 8 日は私の誕生日だったのですが、前日にキャンプに行きキャンプ場の近くのお店でホストファミリーのキャンプ仲間 2 家族とご飯を食べ私の誕生日を祝って下さいました。そして誕生日当日は家族や親戚の方が集まって一緒に外食しました。ケーキをホストマザーが作ってくれて親戚の方はプレゼントに財布とブレスレットとクッキーも作ってくださいました。親戚の子供たちは手紙とビーズで作った花をくれて嬉しかったです。ホストファーザーには 9 月 22 日に船の上で夜ご飯を食べるツアーのプレゼントをもらいホストファミリーと行くのが楽しみです。

ハロウィンの季節なので皆で仮装をしてお菓子をもらいに行きました。日本では１０月３１日の一日しかしないですけどアメリカは１０月の一ヶ月間ハロウィンムードでどこの家も家の前にハロウィンのグッズやカボチャのキャンドルを置いていて本格的だなぁと思いました。

11 月の二週間ホストファミリーが旅行に行っていたのでその間同じホストクラブの Dolly さんがホストをしてくれていました。彼女はスポーツ観戦が好きなのでバレーボールやフットボール、バスケットボールの試合をみました。彼女のいとこが私と同じ学校のバレー部に入っているのでバレーボールの試合は応援しに行くことが多く新しい友達ができたことが嬉しかったです。

クリスマスパーティーがありホストファミリーの親族が一斉に集まってみんなでプレゼントを交換しました。私にも美容グッズや服などのプレゼントをもらい嬉しかったです。

◆学校以外の学習、文化体験◆

先日ホストファミリーとボーリングをしに行きました。ホストファザーはボーリングがとても上手くてマイボールやマイシューズを持っていて私はボーリングはそんなにしたことがなく下手でガターになる

のが多かったのですがホストファザーにコツを教えて貰うと投げているうちにスペアやストライクも1回出せて楽しかったです。その後イルミネーションパークという車でイルミネーションを見られるというところに行きすごくきれいでした。
ホストファミリーが2週間メキシコに旅行に行き同じwaverlyホストクラブのDollyさんが代わりにホストファミリーとして私を迎えてくれました。日本料理屋に連れて行っていただいて、そこは日本人夫婦がオーナーとしてやっているお寿司やステーキの店で従業員の人はみんな浴衣を着ていて久々に日本の空気を感じて懐かしくなりました。

ホストファミリーと一泊二日の旅行に行ってきました。室内にウォータースライダーがいくつもあり一日でも乗り足りないくらいありました。波があるプールや、サーフィンができるプールなどもありました。波のあるプールではみんなでジャンプしたり波にあらがってみたりして楽しかったです。ウォータースライダーは外までレーンが伸びていて一回外に出て中に戻ってくるのがすごかったです。

三月は外出自粛だったので家でゲームをしたり絵を描いたりしていました。あとアイスホッケーの試合があったので見てきました。始めてアイスホッケーを見たのですが人とのぶつかりが激しくて会場内にすごい音が響いて試合中に喧嘩が起きて殴り合いになったりすごかったです。

学校の友達3人で服を買いに行きました。私は売っている服のサイズが大きくて買えなかったのが残念ですが楽しかったです。
Kimberlyさんの家に行って肉じゃがを作ってもらいました。家には玄関があり炊飯器やお箸湯飲みなどもあり日本にいるみたいでした。Kimberlyさんもお箸を使って食べていてすごいなと思いました。
12月にあるスノーボードのためにドレスが必要だったのですが私に合うロングドレスがなく困っていたら友達の余っているドレスをくれるといって5着くらいドレスを持ってきてくれてその中から私に合うドレスを一緒に選んでくれてとても嬉しかったです。友達の出る女子バスケットボールの試合を見に行ってきました。ボールの取り合いが激しく目が離せない試合でした。

タガノックフォールズ州立公園に行ってきました。滝と雪がすごくマッチしていてきれいでした。そこでたまたまほかの留学生に出会い一緒に写真を撮りました。そのあと一緒にショッピングに行き夕ご飯はいろいろな国の食べ物がバイキングで食べられるお店に行きお互いの国の食べ物を食べ比べしました。

シラキューズ大学に行ってきました。中には入れなかったのですが周辺で買い物をしたり楽しかったです。

◆最後に◆

留学期間が短くなってしまいこれで終了と思うと後悔が残りますが私の人生の中でこの留学はなかなかできない経験だと思うのでこれを生かして之からも頑張りたいと思います。私の留学を助けてくれた皆さん、そしてロータリーの皆さんに感謝しています。

本当にありがとうございました。